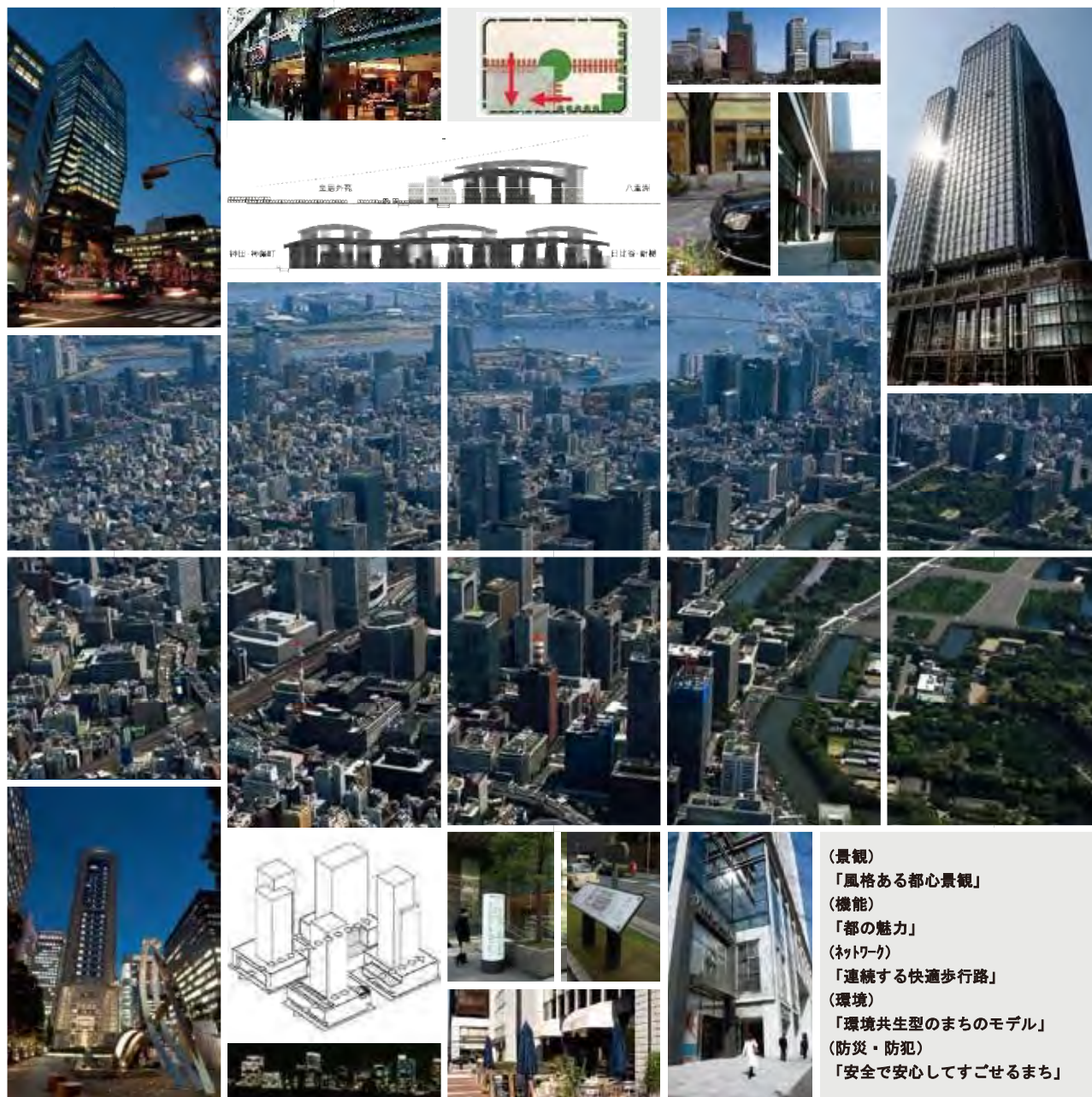


大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくりガイドライン

デザインマニュアル 2009



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会

目 次

I デザインマニュアルの基本的な考え方

- 1. デザインマニュアルの目的 I－ 2
- 2. 使い方と構成 I－ 3

II 広域から見た本地区のアーバンデザインのあり方

- 1. 山手線内側の範囲から見た本地区のスカイライン形成の考え方 II－ 2
- 2. 皇居周辺東側エリアにおけるボイド空間形成の考え方 II－ 4

III 本地区のアーバンデザイン

- 1. 本地区アーバンデザインの基本的考え方 III－ 2
- 2. 建物の壁面位置等について III－ 5
- 3. 本地区のキーワード構成
 - (1) キーワード構成 III－ 6
 - (2) 主要キーワードと場所 III－ 8
 - (3) まちづくりの型と立地別キーワード III－ 10
 - (4) 「デザインマニュアル」と「美観地区ガイドプラン」のキーワードとの関係 III－ 12
 - (例示) 丸ビル敷地で設定される「デザインマニュアル」と「美観地区ガイドプラン」のキーワード III－ 14

IV 個別計画の指針

- 1. 全域キーワード IV－ 2
- 2. 街並み形成型まちづくりのキーワード
 - (1) 街並み形成型まちづくり適用範囲の共通キーワード IV－ 12

(2) - 1	アーバンデザインの骨格エリア	・ ・ ・ ・ ・	IV - 20
(2) - 2	拠点	・ ・ ・ ・ ・	IV - 26
(2) - 3	街並み調和型キーワード	・ ・ ・ ・ ・	IV - 30
	日比谷通り、行幸通り、丸の内駅前広場		
(2) - 4	賑わい形成型キーワード	・ ・ ・ ・ ・	IV - 34
	仲通り		

3. 公開空地ネットワーク型まちづくりのキーワード

(1)	公開空地ネットワーク型まちづくり適用範囲の共通キーワード	・ ・ ・ ・ ・	IV - 40
(2) - 1	大手町ゾーン全体	・ ・ ・ ・ ・	IV - 50
(2) - 2	アーバンデザインの骨格エリア	・ ・ ・ ・ ・	IV - 52
(2) - 3	拠点	・ ・ ・ ・ ・	IV - 56
(2) - 4	空地集約型キーワード	・ ・ ・ ・ ・	IV - 62
	大手町拠点交通結節点広場		
(2) - 5	空地連続型キーワード	・ ・ ・ ・ ・	IV - 64

4. 自由選択キーワード	・ ・ ・ ・ ・	IV - 68
--------------	-----------	---------

V 公的空間の指針

(1) 東京駅丸の内駅前広場	・ ・ ・ ・ ・	V - 2
(2) 行幸通り	・ ・ ・ ・ ・	V - 4
(3) 東京駅八重洲駅前広場	・ ・ ・ ・ ・	V - 6
(4) 仲通り	・ ・ ・ ・ ・	V - 8

VI ライティング・マニュアル

(1) 目的	・ ・ ・ ・ ・	VI - 2
(2) ライティングの前提条件	・ ・ ・ ・ ・	VI - 3
(3) ライティングの考え方	・ ・ ・ ・ ・	VI - 4
(4) ライティングの方針	・ ・ ・ ・ ・	VI - 5
(5) 管理・運営など	・ ・ ・ ・ ・	VI - 10

I デザインマニュアルの基本的な考え方

1. デザインマニュアルの目的

本地区を訪れる一般来街者や就業者が、本地区らしさを感じることができる都心にふさわしい風格ある都市景観を創出するためには、連続した街並みや一体感あるスカイラインを形成する、高さ、材質、色彩、表情等の建築物相互の総合的な関係性への配慮や、道路・駅前広場等の公的空間と建物低層部の貫通通路や空地等が連携した連続する人の動線やシークエンスの形成など、まちとして一体感のある空間整備が必要である。

また、まちに賑わいや憩い、品格、活気や瑞々しさ等の表情を与えるためには、建物に導入される「機能」、水や緑などの「環境」、建物低層部の表情やしつらえなどの「景観」、地上地下の連続する歩行者動線を形成する「ネットワーク」といった要素に着目し、アーバンデザインという幅広い観点から総合的にまちづくりをとらえ、誘導する必要がある。

このデザインマニュアルは、民間の建て替え計画や行政を中心とした公的空間整備に際し、本地区の望ましい将来像を総合的な観点から誘導、実現するため、「まちづくりガイドライン」に示されたアーバンデザインの方向をより幅広く展開・解説した、方向性を示す誘導指針であり、計画に関わる事前の自主的検討のための資料である。

内容としては、千代田区美観地区ガイドプランのキーワードをもとに、本地区に求められるアーバンデザイン上の特徴を説明する景観キーワードを組み立て、キーワードの意味や考え方、具体的な対処や望ましいデザイン手法例などのビジュアル資料を加えた。

また本デザインマニュアルはまちづくりガイドラインに対応して段階的に進化するものとする。

尚、本地区に関わる景観関連の上位計画などとしては、下記を参照の事。

○東京都

- ・東京都景観計画（平成21年改訂）

○千代田区

- ・千代田区景観形成マスタープラン（平成10年）
- ・千代田区美観地区ガイドプラン（平成14年）
- ・千代田区景観まちづくり計画（予定）
- ・大手町・丸の内・有楽町地区 地区計画（随時更新）

○大丸有懇談会

- ・屋外広告物ガイドライン～仲通り周辺エリア編～（素案）（平成21年）

○大手町まちづくり景観検討委員会

- ・大手町まちづくり景観デザインガイドライン（平成17年）

○大丸有協議会

- ・サインデザインマニュアル（平成20年）

I デザインマニュアルの基本的な考え方

2. 使い方と構成

このデザインマニュアルは前項に述べたように、「まちづくりガイドライン」のアーバンデザイン面の方向性を示す誘導指針であり、ガイドラインの副読本的な位置づけである。従って建て替え計画にあたり、自主的に当デザインマニュアルを一読し、特にIV章に基づきキーワードによる計画案の事前整理を行うことを推奨する。

各章の内容としては、

II章「広域から見た本地区のアーバンデザインのあり方」

主に山手線内部のスカイラインの構成状況と、皇居周辺のアーバンデザインの状況を概括し、その中での本地区のあるべき方向を記述した。

III章「本地区のアーバンデザイン」

まちづくりガイドラインのアーバンデザイン上の主要ポイントと、本地区で特徴的な「街並み形成型」と「公開空地ネットワーク型」の内容等を記述し、加えてデザインマニュアルで使用されるキーワード構成を網羅的に整理し、理解を深めるものとした。

IV章「個別計画の指針」

景観、機能、環境、ネットワーク、及び防災・防犯の視点から下記で構成されており、計画地の立地特性の把握や理解、個別計画のデザイン上の特徴を整理できるものとなっている。

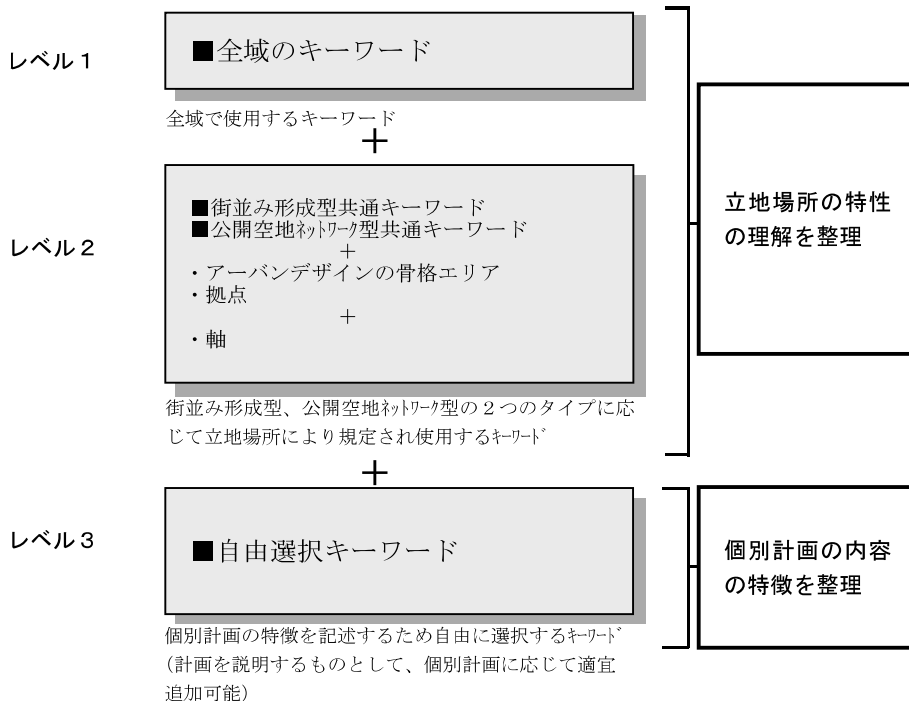
V章「公的空間の指針」

駅前広場及び主要な通りをとりあげ、その整備の方向を整理した。

VI章「ライティング・マニュアル」

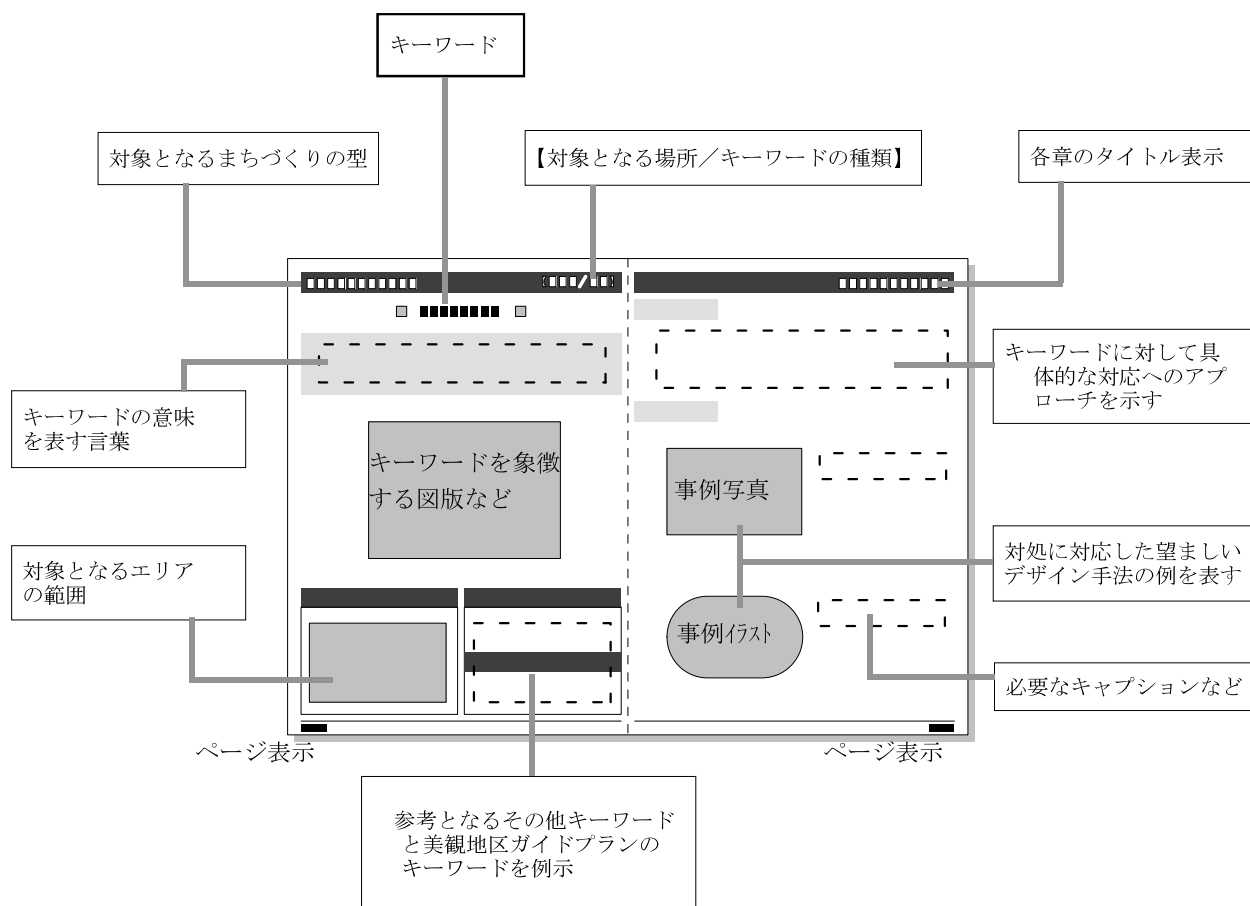
中景、近景の視点から建築物等の夜景を中心としたライティングに係わる誘導の内容が記述されている。

IV章の構成



各キーワードの解説ページ構成

Ⅳ「個別計画の指針」、Ⅴ「公的空間の指針」については下記の構成によりキーワードとその解説が記載されている。



Ⅱ 広域から見た本地区のアーバンデザインのあり方

1. 山手線内側の範囲から見た本地区のスカイライン形成の考え方

山手線内側を中心とした、東京都の「都市づくりビジョン」でいうセンター・コア再生ゾーンを経年的に見ていくと、日本、東京が成長し都市活動が活発になるに従い、建物が高層化し、都市構造としての広域スカイラインを形成してきていることがわかる。

即ち、日本の超高層ビル第1号としての霞が関ビルをスタートに浜松町の世界貿易センタービルが続き、その後は都心や新宿で超高層オフィスビルが次々と立ち上がっていく。その後超高層ビルの建設によるスカイラインの形成は、新宿・池袋・渋谷等の副都心で山手線に沿い連鎖状にリングを形成する動きと、都心から品川方向へ東海道線を軸に南下する流れ、霞が関・虎ノ門から246号線を軸に西へむかうコリドー沿いの流れ等が生じ、結果として都心、副都心、コリドーといった都市構造や都市活動の集積に即したスカイラインが形成されてきている。

このような都市構造的観点から見ると、本地区はリング状スカイライン、コリドー上スカイライン、東海道線軸スカイラインの起点と位置づけることができる。即ちそれらの起点として、都心の都市活動に対応した、秩序と風格のあるスカイラインの姿が求められる。その際、人々が都市活動を営む上で望ましい建物足元周りの環境やネットワーク形成、使いやすい合理的な基準階面積の設定、本地区にふさわしい建物デザイン等々、高さのみを追い求めるのではない、総合的な視座からの検討が望まれる。

Ⅱ 広域から見た本地区のアーバンデザインのあり方

都心東側から見た都心、新宿副都心などのスカイライン遠景



- ・本地区から霞が関、虎ノ門方向へのスカイラインの流れや、副都心の連鎖状リングのスカイラインが形成されている（下図参照）

山手線内側スカイラインのまとめ



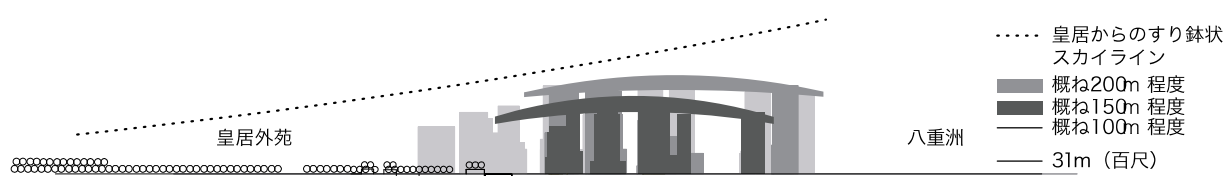
- ・都心、副都心、コリドー、東海道線軸への超高層ビルの集積とスカイラインの形成

2. 皇居周辺東側エリアにおけるボイド空間形成の考え方

皇居を中心とした外苑や日比谷公園は濠や緑に彩られ、都心の中で大きな空の広がりや独特の佇まいをもつ空間として広く国内外に親しまれた存在である。特に本地区が面するこの皇居周辺東側エリアは、皇居外苑などの空の広がりや建物群から織りなされるパースペクティブな景観を形成する希少な空間である。よって今後もこの都心での貴重な空の広がりを維持・拡充していく必要があるだろう。そのため建物高層棟の適切な後退や見付幅への配慮、高さの設定、皇居の緑やお濠の水、石垣といった自然の素材とも調和した適切な素材、色彩等の選択が望まれる。

また本地区の特徴的な骨格をなす公的空間である東京駅丸の内駅前広場から行幸通りについては、皇居前に広がるボイド空間を引き込んだ、空の広がりを感じさせる連続的な空間としていく。

(※ボイド：遮蔽物等なしに空間のみを感じられること)



(出典：「大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくりガイドライン」)

Ⅱ 広域から見た本地区のアーバンデザインのあり方

皇居周辺東側エリアの大きく空の広がる空間（ハッチ部分）



皇居外苑から大手町・丸の内方向を望む



皇居外苑から有楽町・日比谷方向を望む

Ⅲ 本地区のアーバンデザイン

1. 本地区アーバンデザインの基本的考え方

本地区におけるアーバンデザインは、建築物相互の関係、建築物と街路や空地などのボイド空間との関係、形態と機能との関係、ハードとしての街とそこを訪れる人々の空間利用の関係等の総合によって形成されるものである。

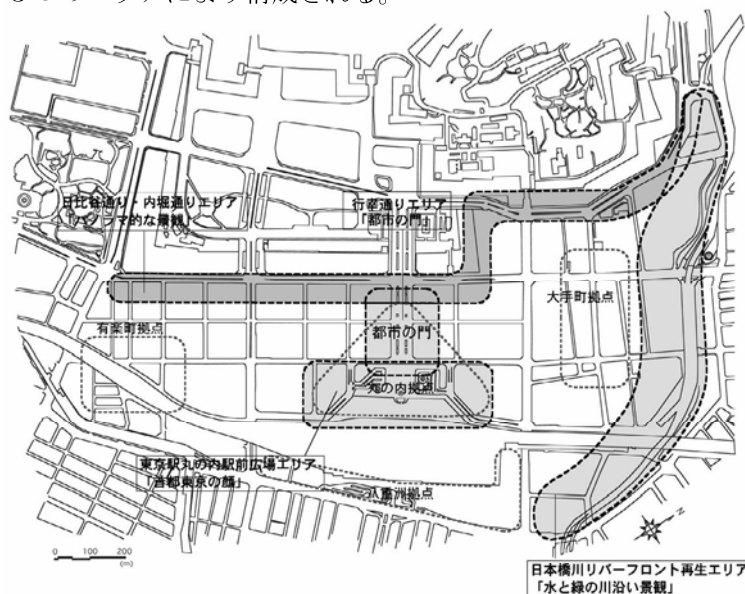
望ましい街として形成されるためには個々の建築物が建築単体としての価値のみを求めるのではなく、皇居～皇居前広場～お濠～本地区～東京駅という連続性のある空間秩序を、本地区ならではの「ノブレス・オブリージ」(Noblesse oblige) として意識し、街区全体、ゾーン全体、地区全体の調和を配慮した計画とすることが必要である。

(※ ノブレス・オブリージ：高い身分・地位に伴う振る舞い)

■本地区のアーバンデザインの骨格エリア

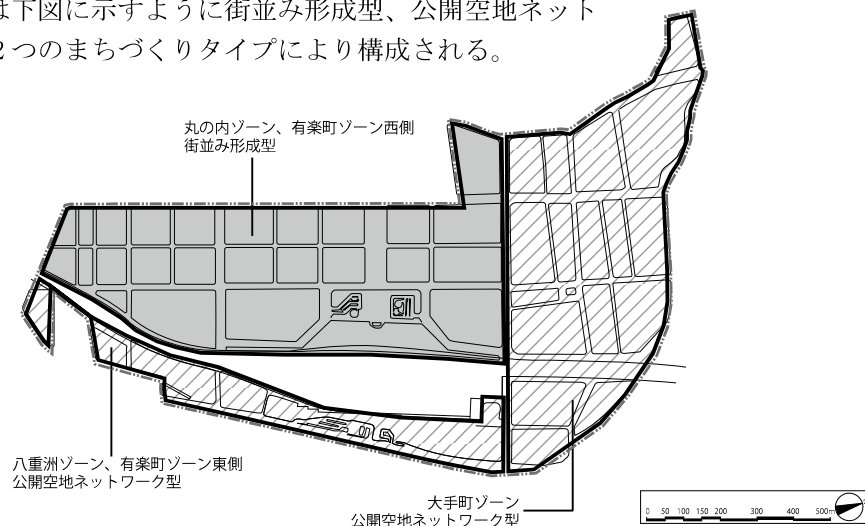
本地区のアーバンデザイン上の骨格部分を下図に示す。

4つの拠点と3つのエリアにより構成される。



■「街並み形成型」まちづくり、「公開空地ネットワーク型」まちづくりの適用

範囲本地区は下図に示すように街並み形成型、公開空地ネットワーク型の2つのまちづくりタイプにより構成される。



1) 本地区におけるまちづくりの構成手法の考え方

個々の建築物の計画に際しては望ましいアーバンデザインの実現のため、計画敷地の立地に応じて「街並み形成型」まちづくり或いは「公開空地ネットワーク型」まちづくりの構成手法に整合した計画を行う（各まちづくりの詳細は「まちづくりガイドライン」参照）。

この2つのまちづくりの構成手法の特徴を建物更新に際して明確に表現していく事により、就業者、来街者に対して、景観面、機能面、環境面等において2つの特徴あるゾーンから構成される事により、まちづくりの多様性や重層性を創出し、本地区全体としての魅力を深めていくものとする。

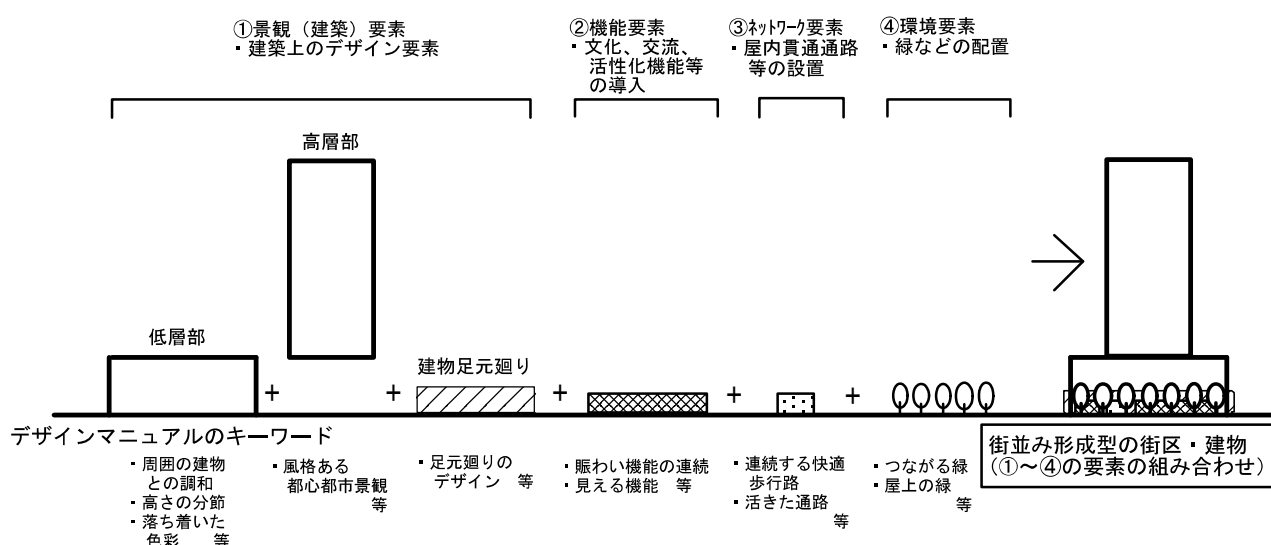
①「街並み形成型」まちづくり

街路沿いに整然とした連続的に建ち並ぶ建築群が、丸の内ゾーン、有楽町ゾーン西側の街並みを特徴づける重要な要素となっており、この街並みによって建物の表情や人々の活動が通りから身近に感じられるものとなっている。

こうした現在の街並みの特徴を継承しつつ、21世紀の国際ビジネスセンターとして街の賑わいや開放性を高め、来街者や就業者に快適な街並みを形成していく。

建築物は低層基壇部＋高層部の組み合わせを基本とし、隣接する街区建物との関係を配慮した壁面位置や低層部表情線等の連続性、各通りの特性に応じた建物低層部への適切な機能配置、歩行者ネットワークを形成する地上・地下貫通通路やアトリウム等の屋内公開空地の整備、低層部の屋上緑化等、建物と街路空間による中間領域を形成しつつ街並みの連続性に配慮しながら歩行者空間の多様性や快適性の向上を図る。（下図参照）

□街並み形成型の基本構成図



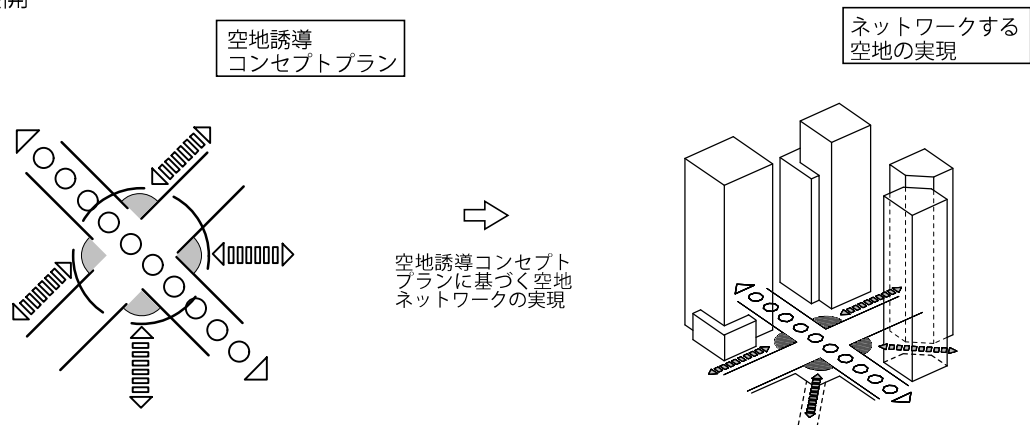
②「公開空地ネットワーク型」まちづくり

公開空地ネットワーク型まちづくりでは「まちづくりガイドライン」に定められた「空地誘導コンセプトプラン」に基づき、交通結節点を中心とした広場、サンクンガーデン等の外部空地や、アトリウム等の効果的配置による見通し良くわかりやすい街の構造の実現や、地上と地下を結ぶ縦動線の確保、これらを街区間で機能的に結ぶ地上地下歩行者ネットワークの形成、公共地下道との接続等により、利便性が高く緑環境の充実に配慮した歩行者動線ネットワークの形成やそのユニバーサルデザイン化を図る。

また開放感や利便性の高い中間領域の形成や、建物配置方向のゾーンのなかでの整合性の確保、建物の足元周りでのヒューマンスケールへの配慮や、圧迫感、威圧感を感じさせないデザイン上の工夫等を図る。

□公開空地ネットワーク型

- ・単体空地からネットワークする空地への展開



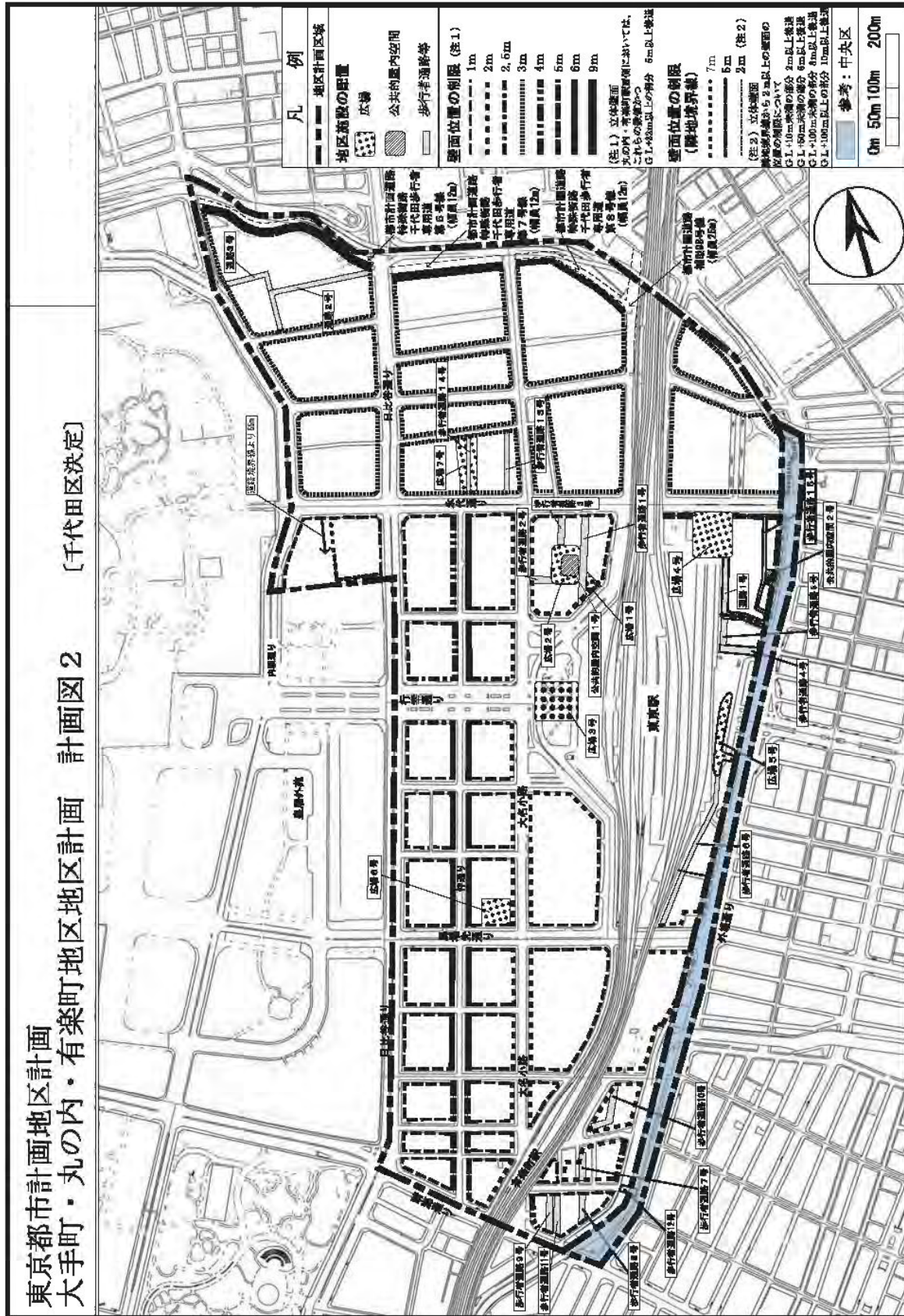
2) 建築物と景観形成について

本地区の今後の機能更新に際して、個々の建築計画が総合的な景観形成に配慮したものとなるよう、一定の考え方を示す。

- ①本地区は東京駅を中心に皇居外苑、東御苑に隣接する象徴的立地にあり、日本及び東京を代表する面（おもて）として風格ある都市景観を創出する。
- ②建築物の形態、高さ、色彩等については、隣接する建築物等との調和や「まちづくりガイドライン」に基づいた本地区の望ましいスカイラインの形成に配慮する。
- ③建築物内部のアクティビティを外部に表出し、情報発信や街としての活動の連続性のイメージを演出するように配慮する。
- ④「可能性に出会える街」という本地区の将来像、伝統と節度を重んじる一方、時代に応じて成長してきた街であるという本地区の発展経緯を踏まえた一定の先端的な試みも許容していく。

2. 建物の壁面位置等について

現在本地区においては地区計画により下記の壁面位置等が整備計画として設定されている。
(下記は2008年7月現在のものであり、地区計画の内容については最新のものを参照のこと)



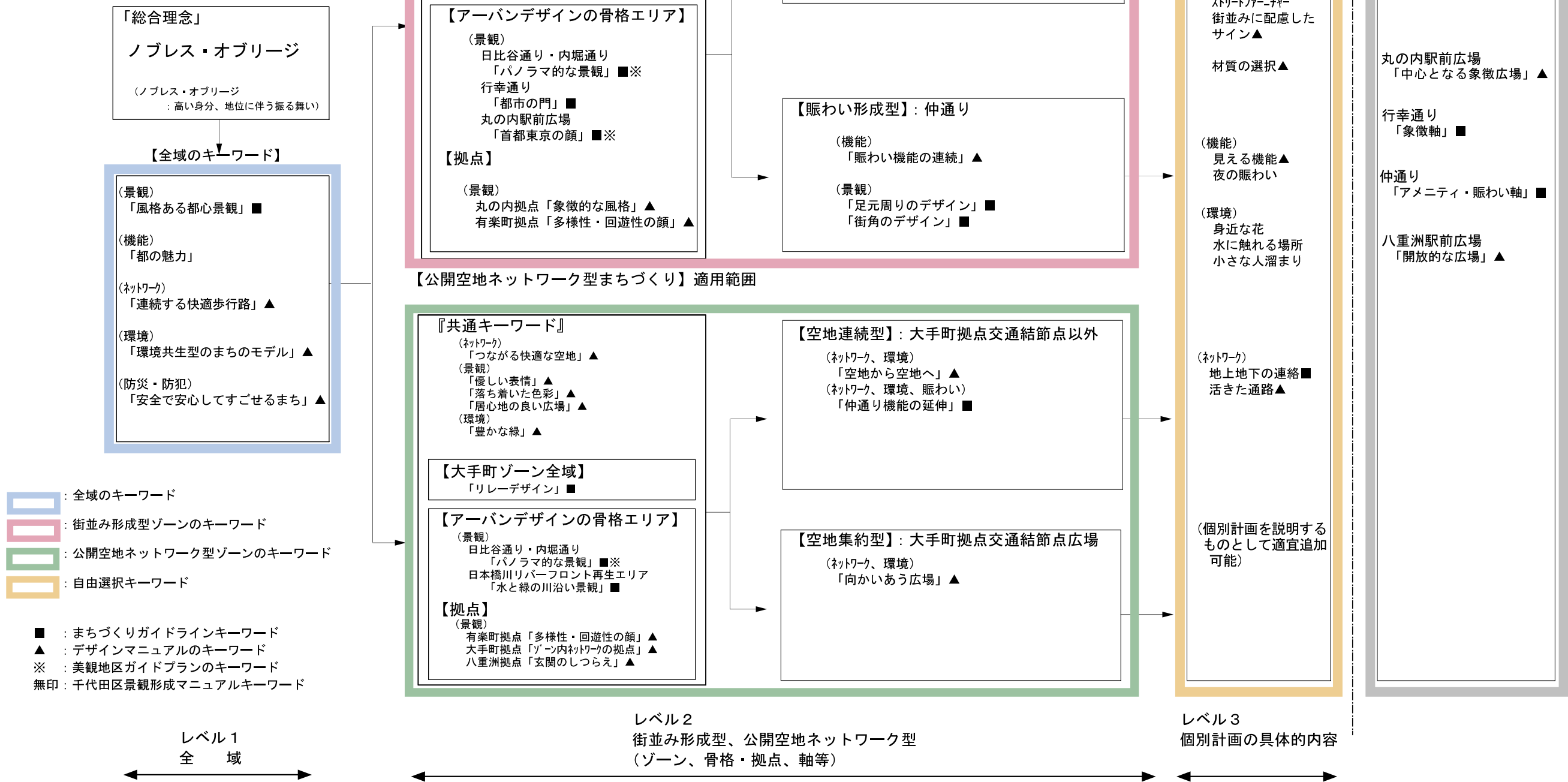
Ⅲ 本地区のアーバンデザイン

3. 本地区のキーワード構成

(1) キーワード構成（フローチャート図）

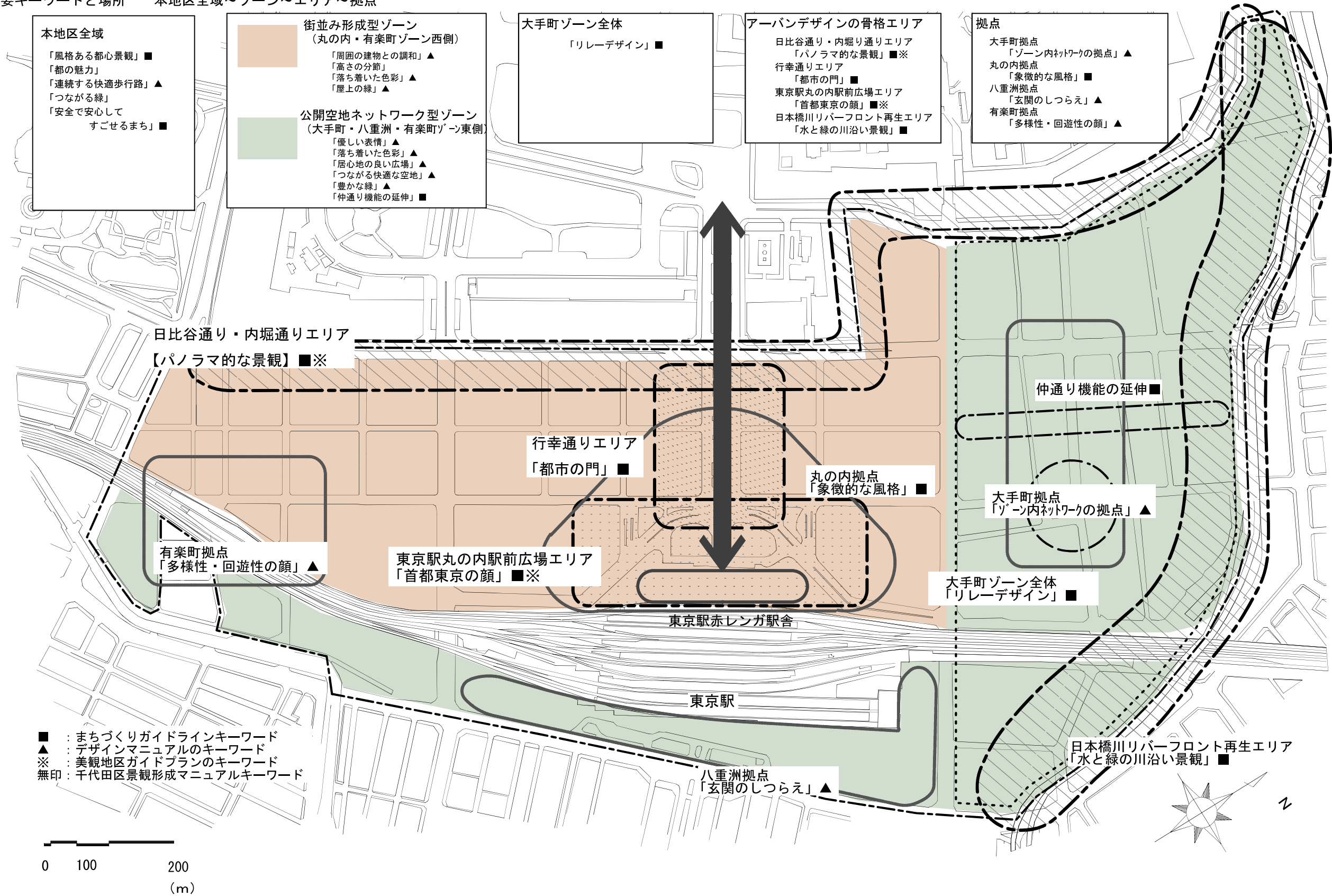
○このページは、デザインマニュアル「Ⅳ 個別計画の指針」及び「Ⅴ 公的空間の指針」に係わるキーワードをフローチャート化したものであり、全域から始まって計画立地に応じてキーワードを設定していく。

- ・「主要キーワードと場所」についてはⅢ-8、「まちづくりの型と立地別キーワード」についてはⅢ-10を参照の事。
- ・また、「デザインマニュアル」と「美観地区ガイドプラン」のキーワードとの関係はⅢ-12、例示として、丸ビル敷地で設定される「デザインマニュアル」と「美観地区ガイドプラン」のキーワードの設定例をⅢ-14に示した。



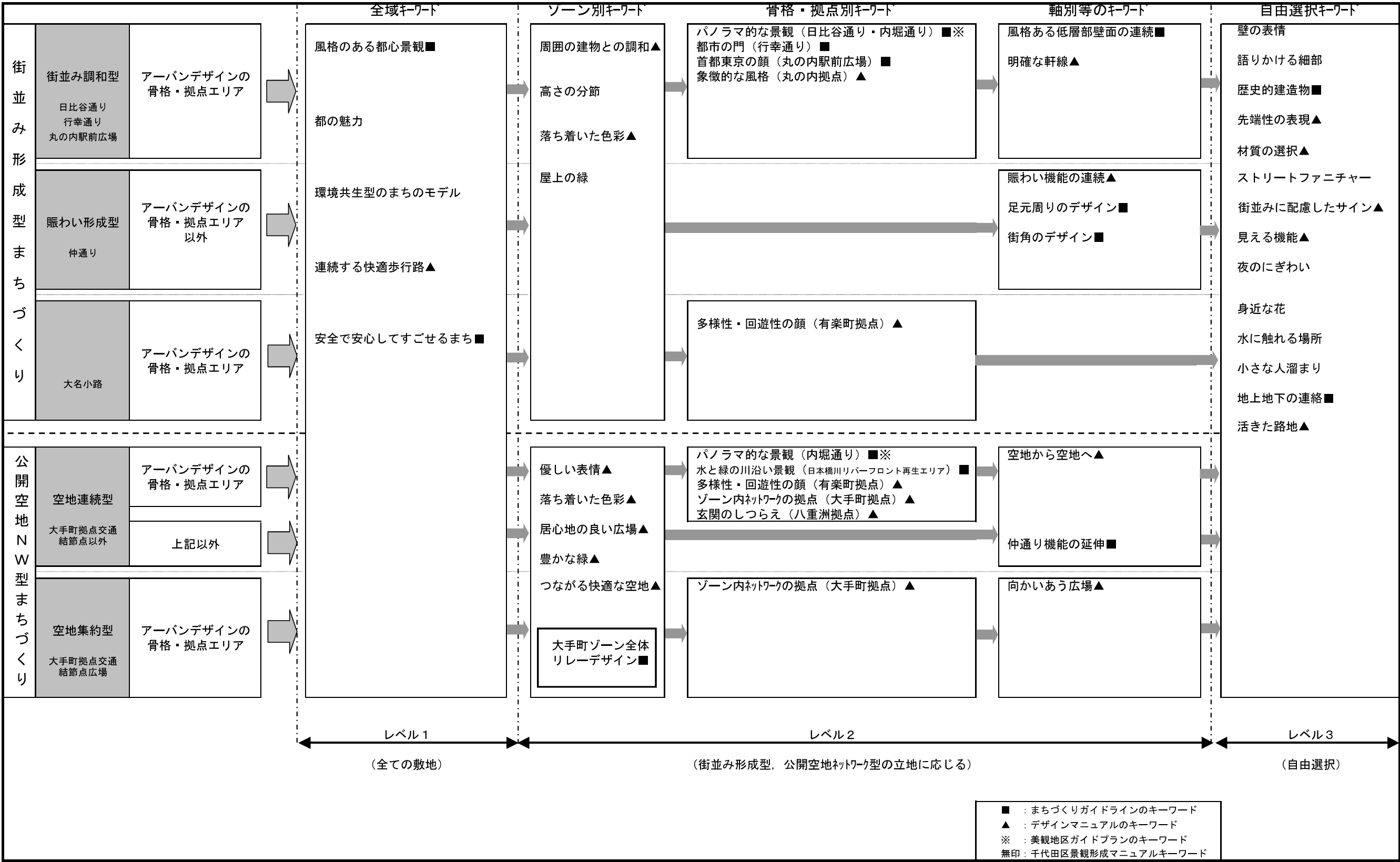
Ⅲ 本地区のアーバンデザイン

(2) 主要キーワードと場所 本地区全域～ゾーン～エリア～拠点



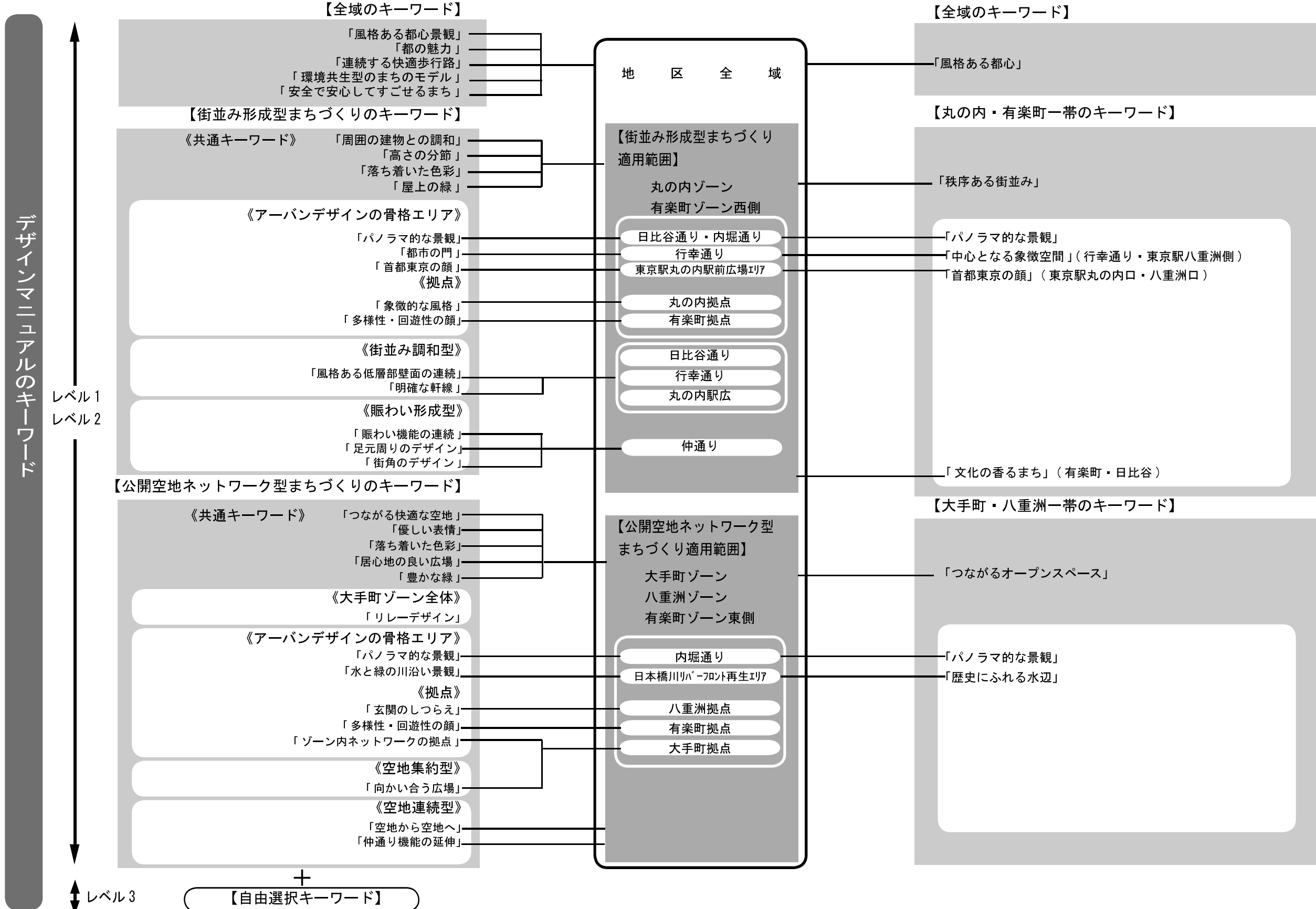
Ⅲ 本地区のアーバンデザイン

(3) まちづくりの型と立地別キーワード



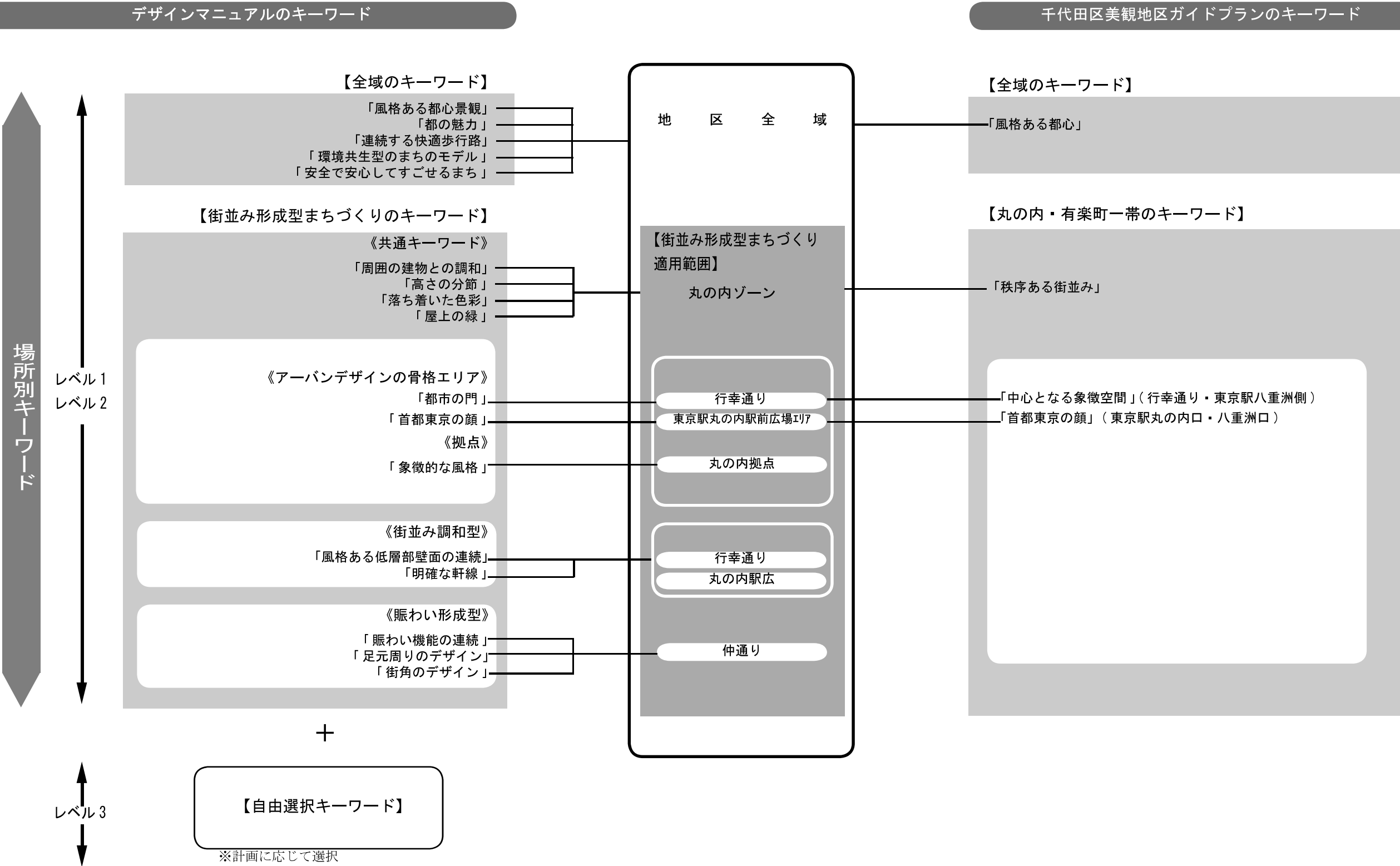
Ⅲ 本地区のアーバンデザイン

(4)「デザインマニュアル」と「美観地区ガイドプラン」のキーワードとの関係



Ⅲ 本地区のアーバンデザイン

（例示）丸ビル敷地で設定される「デザインマニュアル」と「美観地区ガイドプラン」のキーワード



IV 個別計画の指針

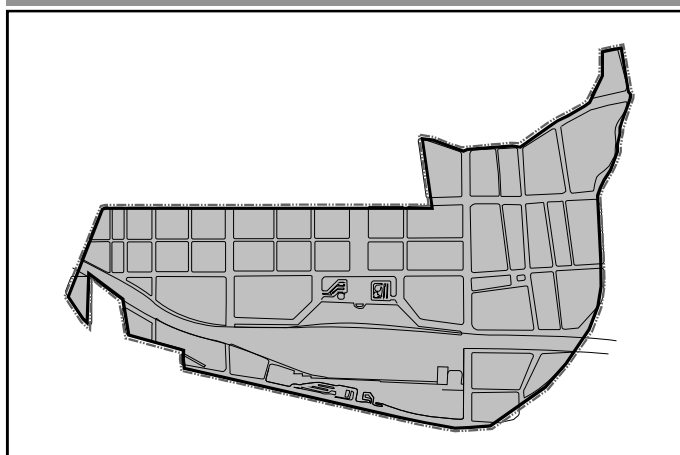
■ 風格ある都心景観 ■

本地区に形成されてきた、風格ある街並み、躍動感ある街並みをアーバンデザインの資源とし、これらを相互に調和させることにより世界に向けた日本の顔として相応しい新たな景観を形成する。



風格ある都市景観を示す、大手町・丸の内・有楽町地区

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- パノラマ的な景観
- 周囲の建物との調和
- 都市の門
- 風格ある低層部壁面の連続
- 首都東京の顔

<美観地区ガイドプランのキーワード>

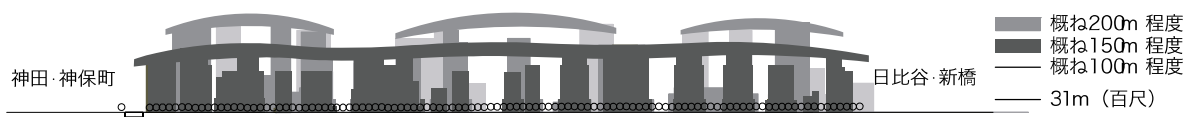
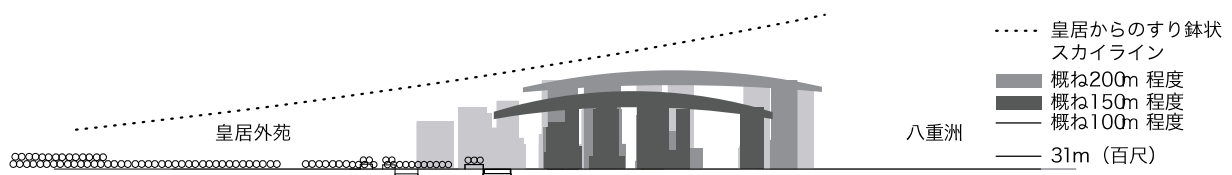
- 風格ある都心
- 中心となる象徴空間
- 秩序ある街並み
- 首都東京の顔
- パノラマ的な景観

IV 個別計画の指針

対 処

- ・拠点を高さのアクセントとし、皇居周辺の水と緑の広がりのあるボイド空間とビル群が織りなす、調和的景観を形成する。
- ・街並み形成型まちづくりゾーンは秩序や整然さ、大手町ゾーンは澁刺さや躍動感のあるスカイラインを形成していく。
- ・街並み形成型まちづくりゾーン、公開空地ネットワーク型まちづくりゾーンにおいてはそれぞれのゾーンにふさわしい足元周りの計画を行っていく。

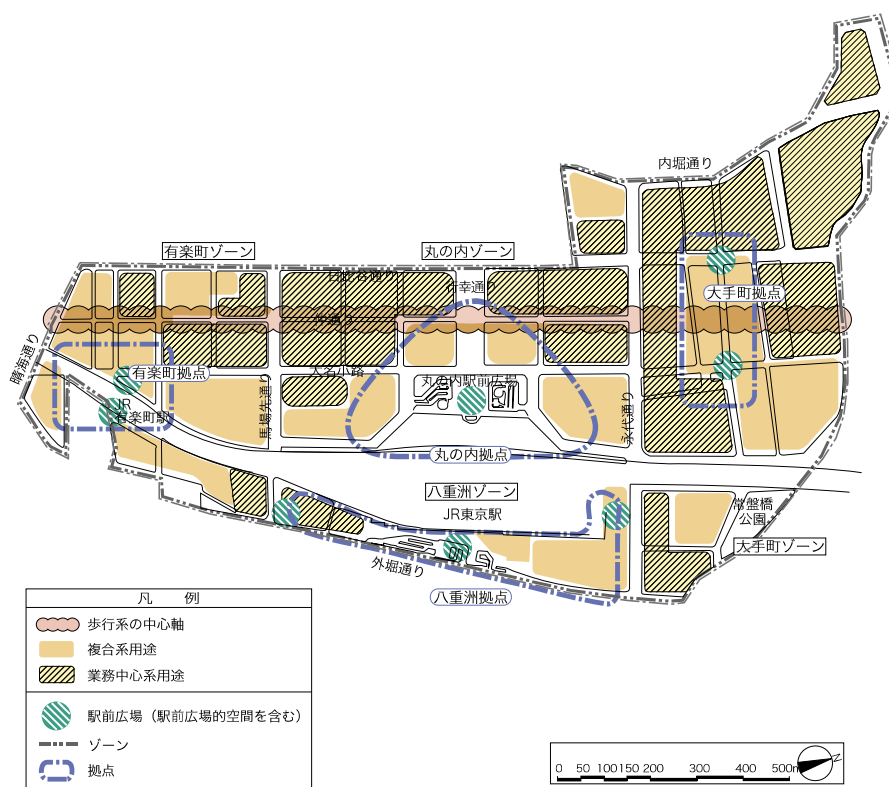
手 法 例



みやこ 都の魅力

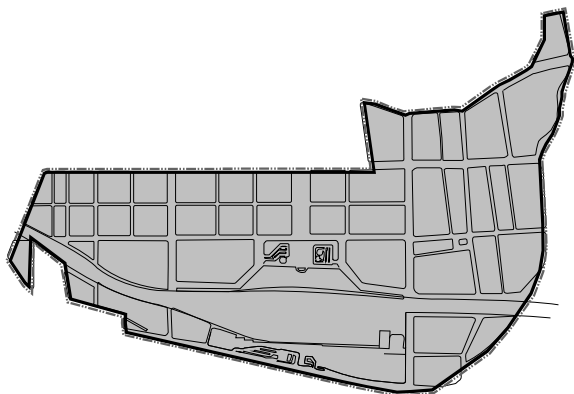
国際都市東京の中心としてその魅力を高めるためには、就業者や来街者がより豊かな時間をすごせる多様な都市機能を備えている必要がある。そのため歴史性や優れた景観資源を活かしながら、地区特性に相応しい複合機能化をはかっていく。

その結果本地区でしか味わえない魅力が形成・蓄積されていくであろう。



メリハリのある機能配置（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 連続する快適歩行路
- 多様性・回遊性の顔
- 賑わい機能の連続
- 夜の賑わい

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・「まちづくりガイドライン」に謳われているメリハリのある機能配置を実現するために、多様な都市機能を軸と拠点へ重点的に配置・立地させる。
- ・メリハリのある機能配置を行い複合機能化をはかるとともに来街者などに開かれた街として回遊性を創出する。
- ・特に有楽町地区は交流施設である東京国際フォーラム等、隣接した日比谷地区と連携した「文化の香るまち」として、文化機能の集積やそれらの機能を建物デザインに反映する等の計画上の配慮に努める。

手 法 例



東京ミレナリオ

© Valerio Festi / I&F Inc.

- ・来街者に開かれた公的空間利用の例



コンベンション機能
・国際的な会議等の例



芸術、文化の発信地
・ミニコンサート
ホールの例



エコツェリア

- ・当地区的环境情報戦略拠点



経済、金融の中心地

- ・国内外の経済情報の受発信施設
の例

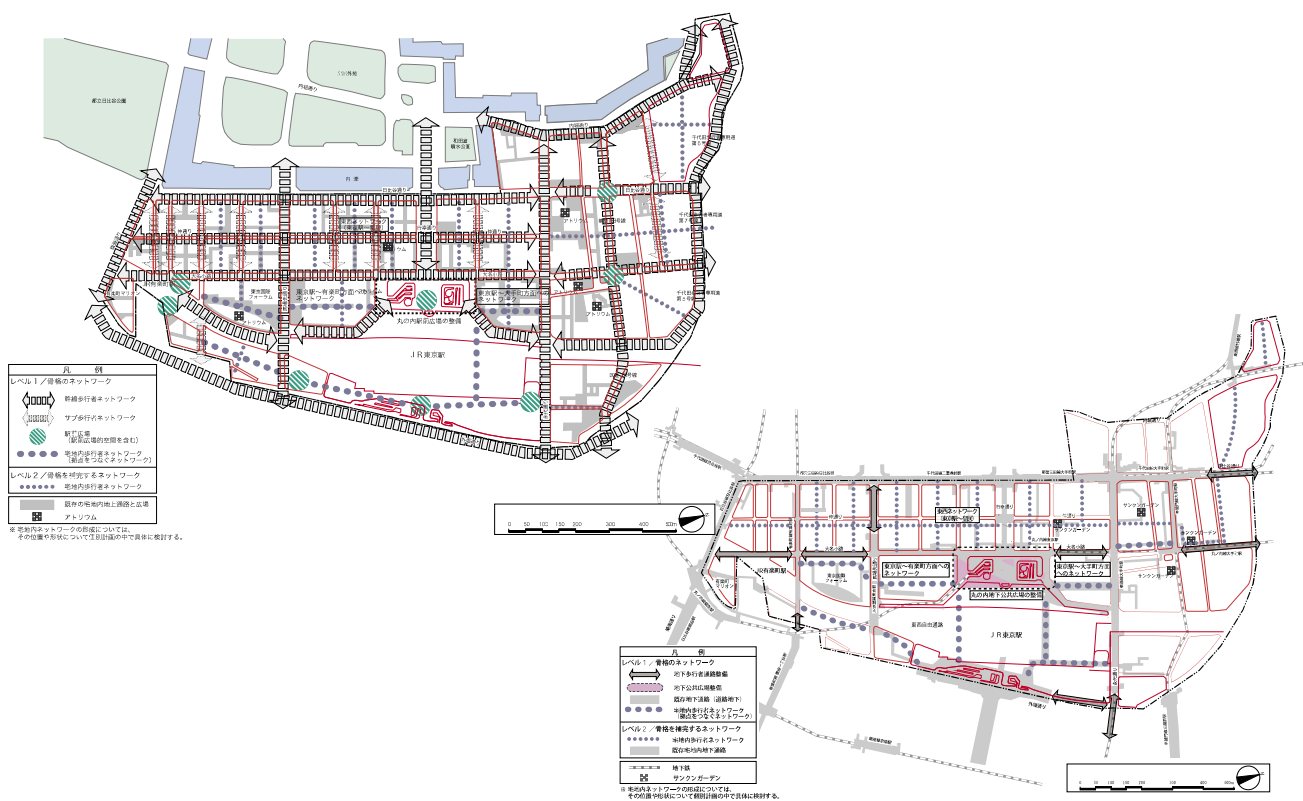


仲通り

- ・快適な歩行者空間と連続
するブランドショップ

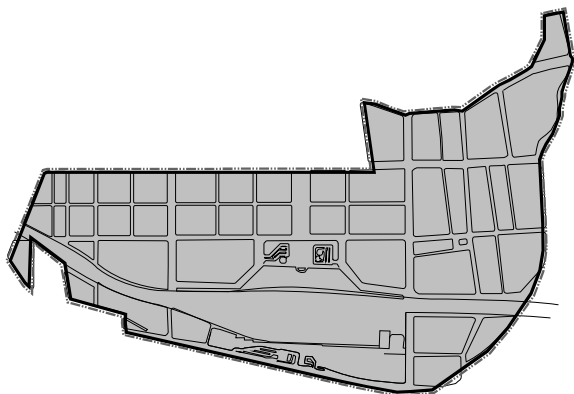
■ 連続する快適歩行路 ■

本地区は国内国外を問わず、多くの就業者・来街者が行き交うこととなろう。
そこでこれらの人々が安全でわかりやすく、かつ快適に目的地に行くことができる、地上地下の歩行路のネットワークを形成していくことが求められる。



歩行者ネットワーク将来イメージ（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

＜デザインマニュアルのキーワード＞

- 都の魅力
- 安全で安心してすごせるまち
- つながる快適空地
- 足元周りのデザイン
- 空地から空地へ
- 向かい合う広場
- 地上地下の連絡

＜美観地区ガイドプランのキーワード＞

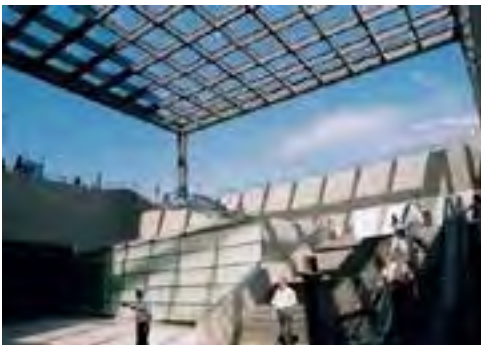
- 風格ある都心
■つながるオープンペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・東京駅、有楽町駅、大手町駅等の交通結節点や公道下の既存の地下歩行者道をネットワークの基本とし、まちづくりガイドラインの「地上・地下歩行者ネットワーク将来イメージ」を実現していく。
- ・街並み形成型まちづくりのゾーンでは特に地上・地下の街区内貫通通路等の形成、公開空地ネットワーク型まちづくりのゾーンでは屋外歩道状空地や広場、地下貫通通路等をネットワーク化させ、本地区全体として快適に歩ける街を形成する。
- ・建物内外の空間や道路、公共地下歩行者道、地上・地下の結節点等の人が行き交う空間はバリアフリー化をはかり、誰もが使いやすいものとするとともに、複数の言語やわかりやすいサイン等により建物やまちの案内表示を工夫する等、人にやさしい歩行者空間の形成に努める。

手 法 例



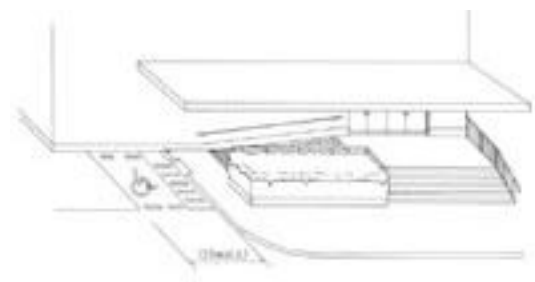
ベルリン・光が射し込む地上地下の結節点



ベルリン・緑を配した連続する屋内貫通通路



ニューヨーク・緑、オブジェ、サイン、光の演出がなされた屋外貫通通路



スロープによる段差の解消



音声触知図案内板の例

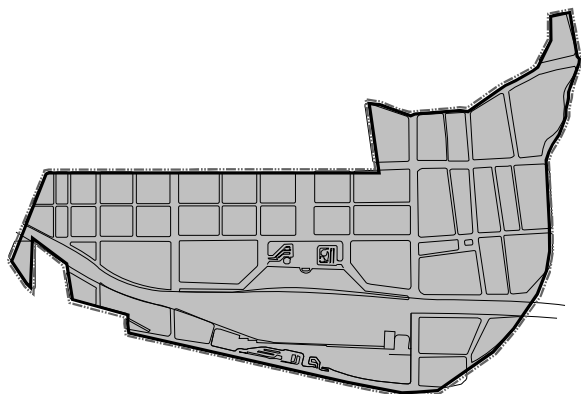
■ 環境共生型のまちのモデル ■

人と都市との共存。都市と地球との共存。本地区は世界に先駆ける環境共生型都市を目指し、関わる企業や団体、人々が一丸となり、まち全体で環境活動に取り組んでいく。こうした取組が様々なデザインや人々の活動としてまちの端々に「可視化」されるものでありたい。



触れる地球儀～太平洋上の雲の状況

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 屋上の緑
- つながる快適な空地
- 豊かな緑
- 足元周りのデザイン
- 空地から空地へ
- 向かい合う広場
- 身近な花

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み
- つながるオープンスペース
- 歴史にふれる水辺

IV 個別計画の指針

対 処

- ・例えば、個別の取り組みとしての高い環境性能をもつ建築物としてのあり方や、外部空間・環境関連施設などを環境デザインの観点から表現していく。
- ・面的な取り組みとしての風の道の形成や、水と緑のネットワーク等の外部空間・公共空間の体系的な活用などをまちのデザインとしていく。
- ・また「エコツェリア」をはじめとした地区内拠点における環境情報の可視化や、普及啓発イベント、打ち水、エコバックなど人々の環境配慮行動の実践など、常に最先端の技術や情報を集積・発信し、日本の「環境ショーケース」として目に見えるものにしていく。

手 法 例



・ 仲通りのドライミスト発生装置



・ 壁面緑化



・ 風の道のイメージ



・ 本地区における打ち水イベント

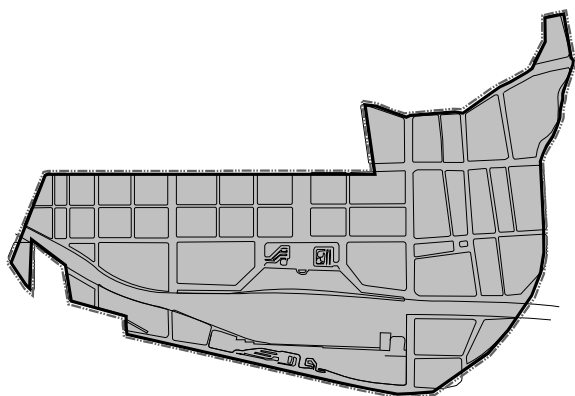
■ 安全で安心してすごせるまち ■

多くの人々が集まる世界に開かれたまちは、いつでも誰でも安全で安心して行き交うことができると同時に、誰にとってもわかりやすい人に優しいまちである必要がある。



防災訓練の様子

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 連続する快適歩行路 ■地上地下の連絡
- つながる快適な空地
- ライトアップ
- 夜の賑わい

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建築物の耐震性能、防災性能を高めるとともに、自ら食料・飲料水・医薬品等の備蓄等にも努めて非常時の対応を図る。
- ・都市型犯罪の発生を防止するため、建物の足元周りに死角を生じさせない工夫をする。また敷地内に適切な夜間照明を配置して、昼夜を問わず人々が安心して過ごせる環境の整備を図る。
- ・消防、警察と連携した防災防犯体制の確立等や、日常的な避難誘導訓練、消火救護訓練等を行うなど、地区内における自主的な防災体制も整備する。

手 法 例



防災センター

- ・非常用食料や消防用水の蓄えのあるビルの防災センターは、災害時には地域の防災拠点となる



公開空地内の防犯対策（新宿三井ビル）

- ・人が自由に出入りできる公開空地内に死角をつくらないように、防犯カメラの設置も有効である



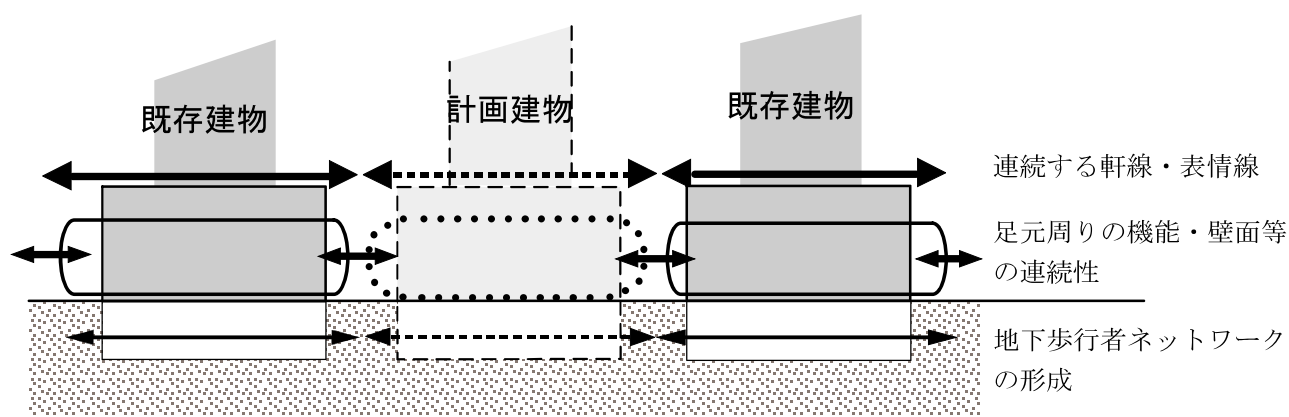
東京国際フォーラムの夜間照明

- ・公開空地など夜間でも人の出入りが自由な場所には、適切な照明計画を行って防犯対策をとる必要がある

■ 周囲の建物との調和 ■

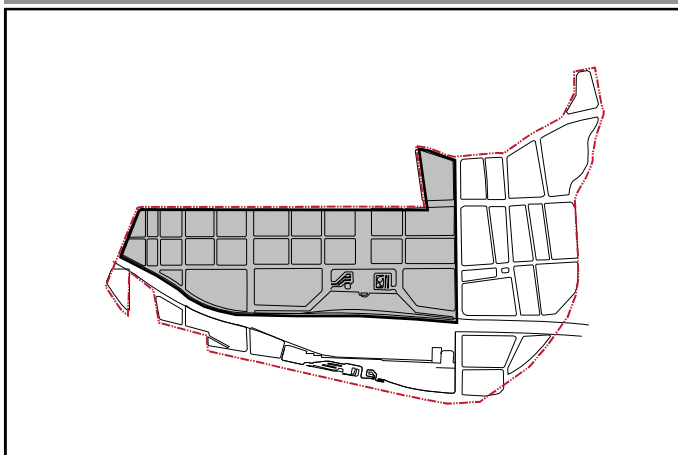
現況の連続する調和した街並みが、丸の内・有楽町西側ゾーンの街並み形成型まちづくりエリアの特徴であり、広く人々の心象風景として刻みこまれている。

将来にわたってもこの秩序ある街並みをを他の場所にはない当エリア独自のアイデンティティーとして継承していくことが必要である。



「周囲の建物との調和」のイメージ

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- パノラマ的な景観
- 象徴的な風格
- 風格のある低層部
- 壁面の連続
- 足元周りのデザイン
- 壁の表情
- 語りかける細部

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み
- パノラマ的な景観

IV 個別計画の指針

対 処

- ・隣接する街区から幹線道路に囲まれたブロックレベルまでの建物景観、建物の足元周りの機能、緑の整備などの環境、地上地下の歩行者ネットワークの形成等、総合的なまちづくりを配慮した計画を行う。

手 法 例



パタノスター計画（ロンドン）

- ・広場への圧迫感を軽減するための建物ファサードの分節、1階部分のピロティの形成、素材と色、各建物に連続する軒線等建物相互の関係が配慮されている



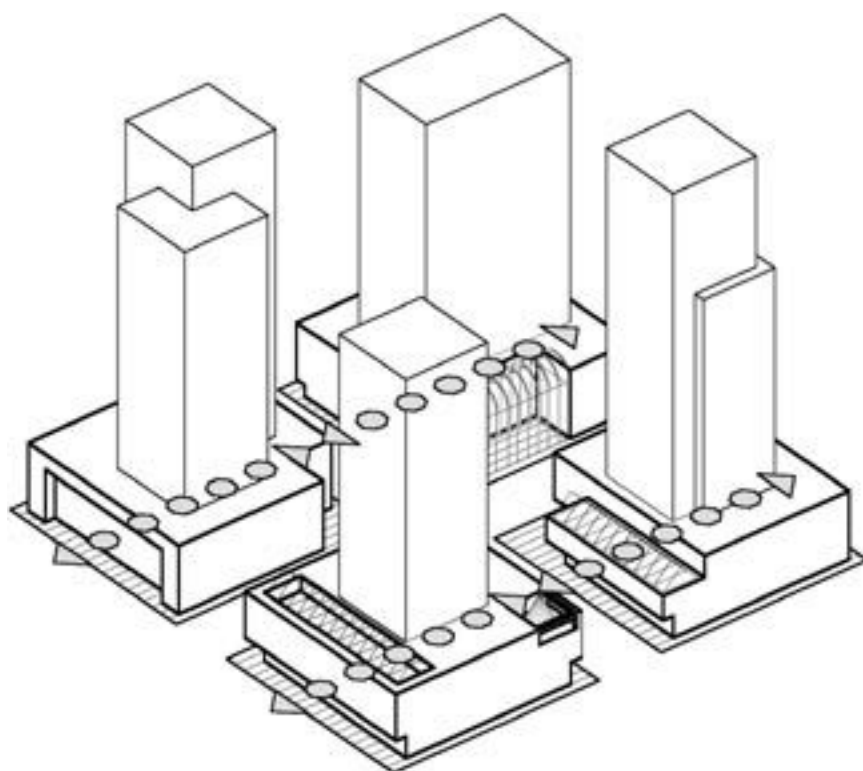
岸本ビル（手前）と丸ノ内三井ビル（奥）

- ・軒線や色彩を統一したデザインとなっている

■ 高さの分節 ■

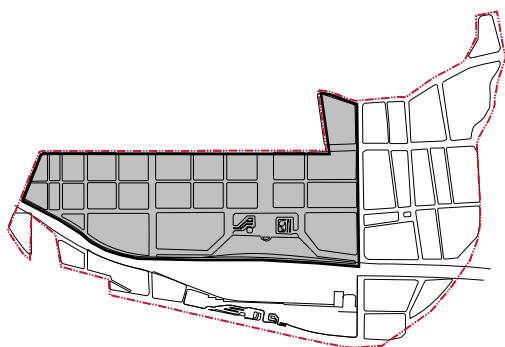
街並み形成型まちづくりのエリアでは、歴史的な景観の継承、低層部による街並みの連続感やリズム感の醸成、適切な機能の配置により、就業者や来街者がこのエリアならではの空間を楽しく快適に歩けるまちづくりとする。

そのため計画建物においては高さを分節して、低層基壇部＋高層棟の明確な形式をとることが必要である。



低層部＋高層部の建物構成（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- 見える機能
- 風格ある低層部壁面の連続
- 明確な軒線
- 壁の表情

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・低層基壇部＋高層棟の建物構成とし「まちづくりガイドライン」の街並み形成型まちづくりのルールにおける各軸のコンセプトや高層棟壁面位置の考え方等を実現していく。
- ・通りに沿って連続的に建ち並ぶ建物低層部により、丸の内ゾーン、有楽町西側ゾーンの街並みの特徴を継承していく。

手 法 例

- ・歴史的に積み重ねられてきた軒線や表情線（約 31 m）を超える高層棟は、低層基壇部からの壁面後退や、壁面の材質・デザイン等を変えることで高さの分節を行う。



日本工業倶楽部会館・三菱 UFJ 信託銀行本店ビル

- ・登録文化財としての歴史的建築保全を行うとともに 31 m の低層棟を付加し、低層部と高層部をデザインとして対比的に扱った計画としている



丸ビル

- ・低層部はかつての丸ビルの壁面位置や壁面意匠のイメージを継承し、その上に新たな高層棟が計画されている

■ 落ち着いた色彩 ■

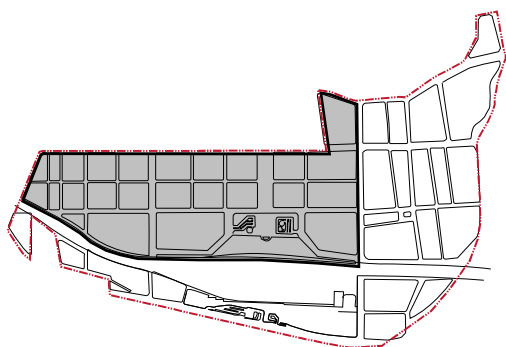
このエリアは東京駅と皇居に面する枢要な位置にある。

建物の色は、この地区の整った風格ある景観の基底をなすものであるとともに、皇居の緑と水や人々の活動風景等を引き立てるものでもありたい。



皇居の濠と大手町のビル群

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- 周囲の建物との調和
- 足元周りのデザイン
- 壁の表情

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・当地区に関わる行政の色彩基準として、東京都景観計画や千代田区景観まちづくり計画（予定）があり、建物の計画手法に対応したそれらの色彩基準に基づき計画を行う。

手 法 例

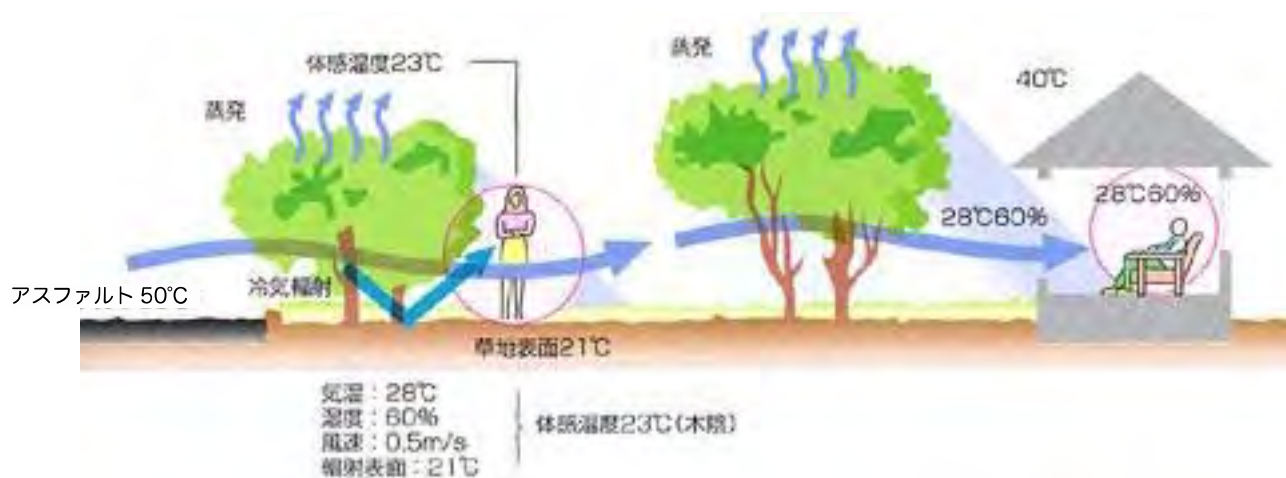


- ・それぞれの建物は、石やタイル、ガラスなど異なる素材を用いながらも、風格ある街並みを形成する落ち着いた色彩を基調としている

■ 屋上の緑 ■

地球規模で温暖化が進行する現在、昼夜なく高密度な活動が行われ多量のエネルギーが消費される都市は温暖化の最先端にあらう。限られたスペースを工夫して緑化していくことが必要である。

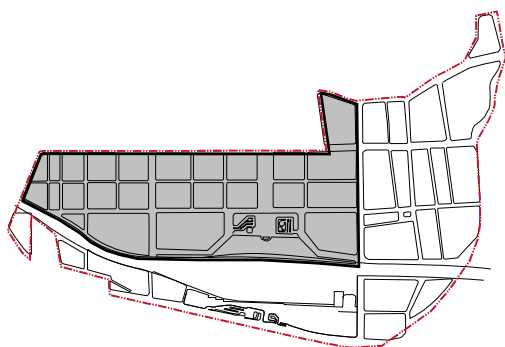
またその緑は高層部から眺める人々の心を和ませるものでもありたい。



緑の効用

- ・都市の緑は、人工的な空間の中にうるおいを与えるとともに、日射の遮蔽や温度上昇の抑制などにより快適な居住環境・就業環境の形成に寄与する

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- つながる緑
- 足元周りのデザイン
- 街角のデザイン

<美観地区ガイドプランのキーワード>

IV 個別計画の指針

対 処

- ・ヒートアイランド現象の緩和や建物への熱負荷の軽減、周囲の高層棟からの眺め、人々へのアメニティも配慮し、建物の屋上を極力緑化していく。

手 法 例



丸ビル

- ・デザインパターンがなされた屋上緑化



新国際ビル

- ・既存ビルの屋上緑化により、高層ビルから緑を楽しめる視点の創出やビル直下階への熱負荷を軽減



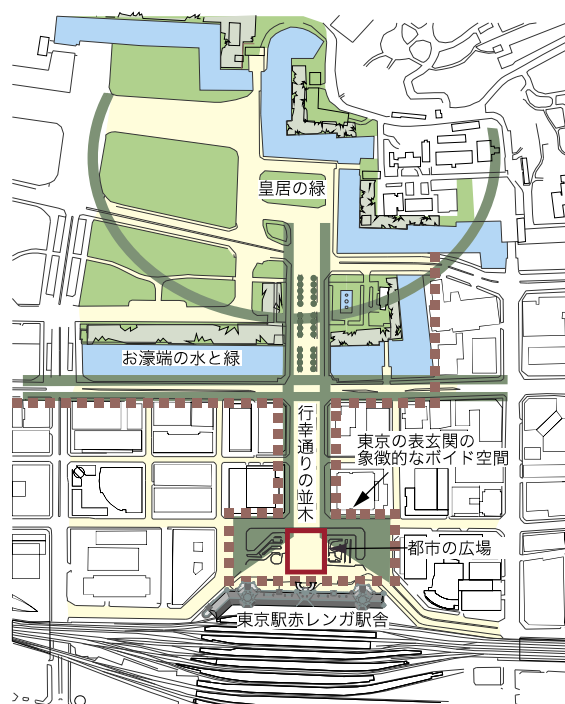
大手町一丁目地区第一種市街地再開発事業

- ・高層ビル間の低層部の屋上緑化。水系施設の設置や地上部から直接アクセス可能な動線も配置されている

2. 街並み形成型まちづくりのキーワード【アーバンデザインの骨格エリア／景観】

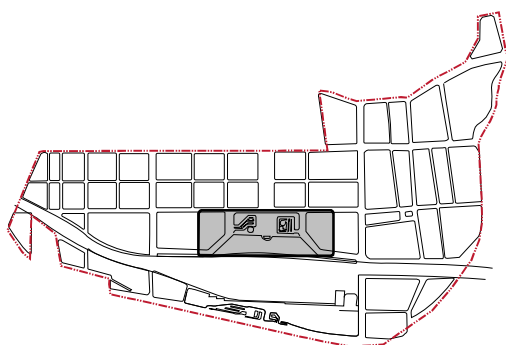
■ 首都東京の顔 ■

東京駅丸の内駅前広場に面するエリアでは、日本・東京の玄関にふさわしい景観を創出するため、特に建物の正面性や建物低層部の壁面の連続による広場の囲われ感を重視した建物とし、東京駅赤レンガ駅舎と一体となった「首都東京の顔」を形成する。



丸の内駅前広場～行幸通りイメージ図
（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 象徴的な風格
- 正面性のデザイン
- 風格ある都心景観
- 明確な軒線
- 風格ある低層部
- 歴史的建造物
- 壁面の連続
- ライトアップ

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 首都東京の顔

IV 個別計画の指針

対 処

- 日本の表玄関である東京駅から皇居にかけての地域において、赤レンガ駅舎の創建当時の姿への復原や駅前広場の整備、行幸通りの景観整備など都市再生へ向けて積極的に進める。
- 東京駅丸の内駅前広場～行幸通り～皇居に至る公的空間は空の広がる一体な都心のボイド空間としてとらえ、行幸通りを通じて皇居の緑を引き込む等、快適な環境を整備していく。
- 高層部の後退等により、31m程度の低層部壁面による広場の囲われ感を継承するよう配慮する。

手 法 例



東京都庁都民広場（西新宿）

- 半円形の壁面やピロティおよび列柱により、囲われ感を醸成している



パリ最高裁判所前広場

- しっかりと連続した建築の壁面に囲われることで、明確な都市的広場空間を形成している

2. 街並み形成型まちづくりのキーワード 【アーバンデザインの骨格エリア／景観】

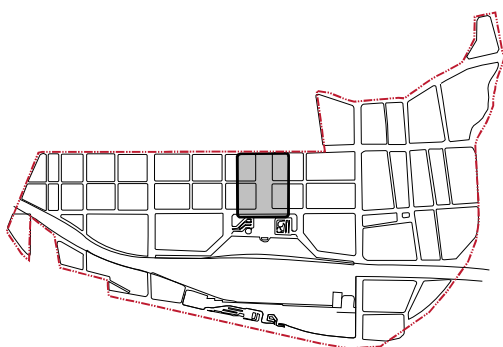
■ 都市の門 ■

行幸通りに面するエリアでは、日本・東京の中央駅としての東京駅と広がりのある皇居外苑とを結ぶ「都市の門」を形成する空間として、東京駅から皇居方面を見通す空間の広がり、皇居からランドマークである東京駅赤レンガ駅舎を正面に望む景観の保全を図るため、特に連続感を重視した建築物とし、中心となる象徴空間を継承していく。



昭和 30 年代の丸の内行幸通り

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- 風格のある低層部
- 高さの分節
- 壁面の連続
- 象徴的な風格
- 明確な軒線
- 落ち着いた色彩

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み
- 中心となる象徴空間

IV 個別計画の指針

対 処

- ・東京駅と皇居を結ぶ軸としてゲート性、象徴性の創出や、低層部壁面位置や素材・色彩等を勘案し、風格と格調ある街路空間を継承する。
- ・高層部の後退、低層部の壁面と軒線の連続性等、行幸通りを中心とする建物間の一体性に配慮する。

手 法 例



ヴァンドーム広場へ通じる通り（パリ）

- ・ヴァンドーム広場へ向かって建築スタイルや壁面の連続性を重視した建物が連続する格調の高い通り



薬師寺三重塔（奈良）

- ・一対のデザインの三重塔を左右に配置することで、金堂へ向かう軸性がより強調されている

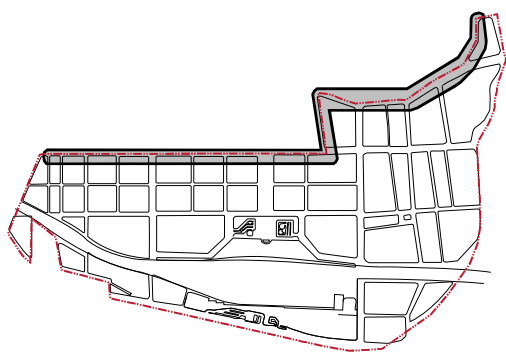
■ パノラマ的な景観 ■

日比谷通り・内堀通りに面するエリアでは、本地区の建物群の正面性としてお濠側から全貌が眺められる、日本でも他に例のない「パノラマ的な景観」を今後とも継承・発展させていく。このため、スカイラインの基本的な考え方を踏まえながら、歴史的に積み重ねられてきた統一感のある街並みや高さを重要なものと認識し、特に建物相互の相隣関係や皇居の水と緑のひろがりとの関係を重視した建物とする。



日比谷通り沿いの景観（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観 ■ 明確な軒線
- 周囲の建物との調和
- 高さの分節
- 風格ある低層部壁面の連続

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み
- パノラマ的な景観

IV 個別計画の指針

対 処

- ・皇居前に広がる建物群による連続的な景観形成として、相隣する建物との高さの関係や色彩、頂部デザインのあり方など、一定の統一感の醸成に配慮する。
- ・奥行感、立体感を感じさせるスカイライン構成とする。

手 法 例



リバーサイドサウス構想案（ニューヨーク）（「a+u '93 9月号別冊」より）

- ・低層部分と分節された高層棟は、低層部とのつながりを配慮しつつ頭頂部に個性を持たせることで、全体として独自のスカイラインのイメージを生み出している



シカゴ

- ・300 mを超える超高層ビルを高さのアクセントとして、パノラマ的景観に一定のまとまりを与えている

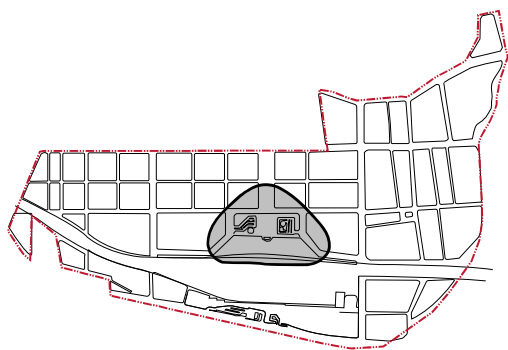
■ 象徴的な風格 ■

首都東京の顔である丸の内駅前広場とこれに連続する赤レンガ駅舎と皇居を結ぶ行幸通りに面する丸の内拠点の建物群は、その立地特性に留意し、象徴的な風格や端正さをもった建物景観の形成が望まれる。



かつての丸の内の建築物

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 首都東京の顔
- 都市の門
- 周囲の建物との調和
- 落ち着いた色彩
- 風格ある低層部壁面の連続
- 明確な軒線
- 壁の表情

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・ 建物の素材や色彩への配慮、デザイン上の工夫による陰影感の表現、低層部の統一感や高層部の配置など、歴史性や赤レンガ駅舎との関係等を配慮した象徴的な風格を醸し出す建物デザインとしていく。

手 法 例



東京都庁（西新宿）

- ・ 立体的に変化する頂部デザインや集積回路を思わせる外装パターンが「東京」の象徴的な風格や端正さを表出している

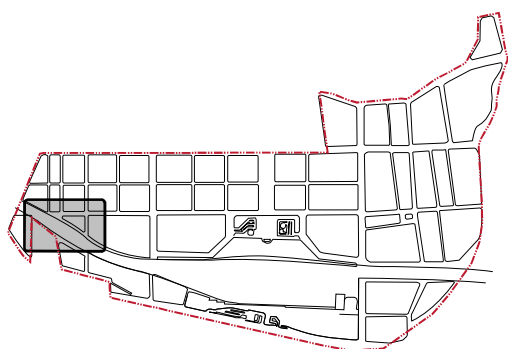
■ 多様性・回遊性の顔 ■

当拠点は本地区の南側の玄関口、また銀座や日比谷方面への人々の回遊性の起点であるとともに、これら周辺地区と連担する本地区の複合機能の拠点でもある。これらの拠点としての特性を踏まえた建物景観の形成に配慮が望まれる。



有楽町マリオンは百貨店、劇場等の複合施設であるとともに、屋内貫通通路は人々が回遊するために重要な存在となっている

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 都の魅力
- 夜の賑わい
- 賑わい機能の連続
- 地上地下の連絡
- 足元周りのデザイン
- 活きた通路
- 街角のデザイン

<美観地区ガイドプランのキーワード>

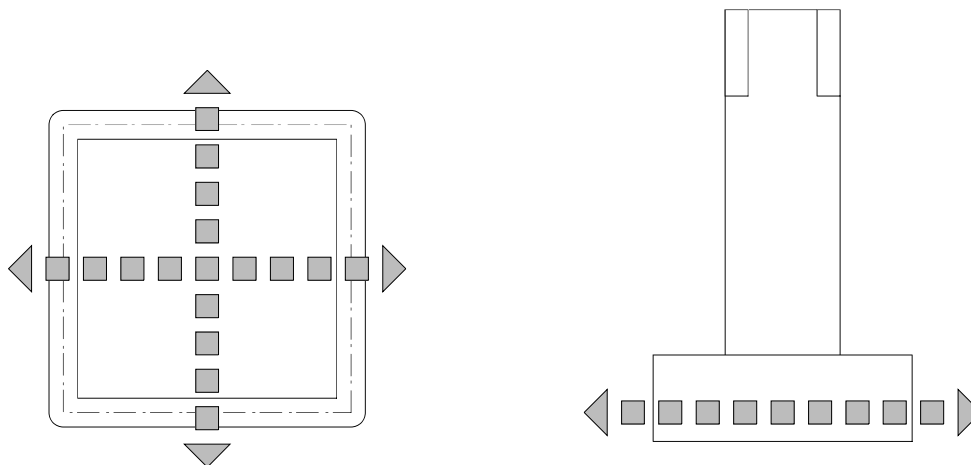
- 風格ある都心
- 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物の足元廻りの貫通通路等の設置によるゆとりある歩行者空間の形成や、多様な複合機能を建物デザインに反映するなど、特徴ある拠点建物デザインに配慮する。

手 法 例



- ・平面計画、断面計画のなかに回遊性を創出する貫通通路等を計画する



複合機能ビルの事例（シカゴ）

- ・低層部（物販）、中層部（オフィス）、高層部（ホテル）、最上部（住居）という複合機能を立面計画に反映した事例

■ 風格ある低層部壁面の連続 ■

日比谷通り、行幸通り、丸の内駅前広場に面して形成されてきた風格ある街並みは、本地区のアーバンデザインにとって貴重な資源となっている。この現在の街並みイメージを継承してゆきたい。

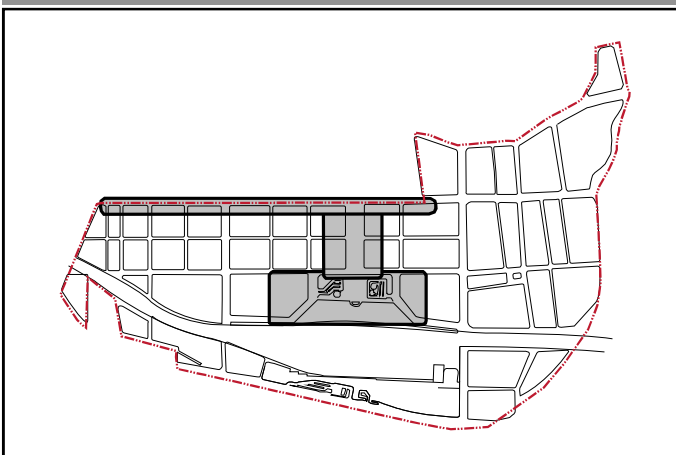


かつての日比谷通りの景観



現在の日比谷通りの景観

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- パノラマ的な景観
- 都市の門
- 首都東京の顔
- 周囲の建物との調和
- 明確な軒線
- 高さの分節
- 落ち着いた色彩

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み
- パノラマ的な景観
- 中心となる象徴空間
- 首都東京の顔

IV 個別計画の指針

対 処

- ・隣接する街区の低層部の壁面位置に配慮し、現在の街並みを尊重した格調ある壁面の連続を形成する。
- ・特に皇居に向かって建物の正面性の表出や風格ある低層部デザインに心がける。

手 法 例



旧第一生命



旧東京會館

- ・日比谷通りにおいては、建物の更新が行われながらも風格と格調あるある建物のデザインが継承されてきた



昭和初期の丸の内駅広から行幸通り

- ・まだ完成された姿ではないが、初期の段階から長い壁面をもつ風格ある建物群によって駅広や行幸通りが構成されていたことがわかる。そういった景観の構成が人々の記憶に刻み込まれていった

2. 街並み形成型まちづくりのキーワード【街並み調和型キーワード／日比谷通り、行幸通り、丸の内駅前広場／景観】

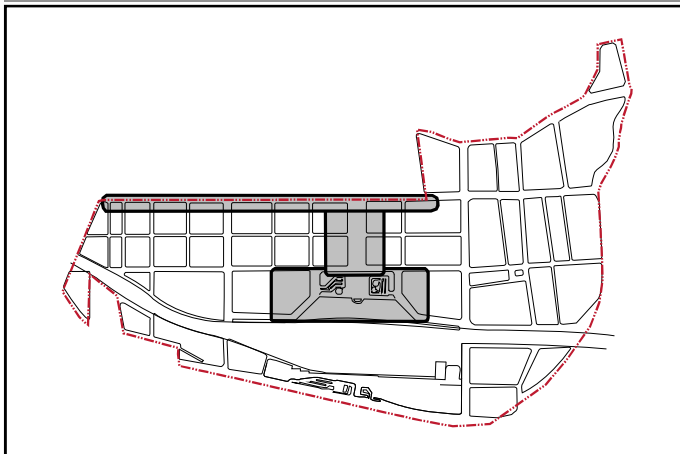
■ 明確な軒線 ■

相隣した連続感のある軒線は歴史的に積み重ねられてきたものであり、本ゾーンの端正な景観イメージとして継承していきたい。



商工会議所と東京會館（丸の内）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観 ■ 周囲の建物との調和
- パノラマ的な景観 ■ 風格ある低層部壁面の連続
- 都市の門 ■ 高さの分節
- 首都東京の顔 ■ 落ち着いた色彩

<美観地区ガイドプランのキーワード>

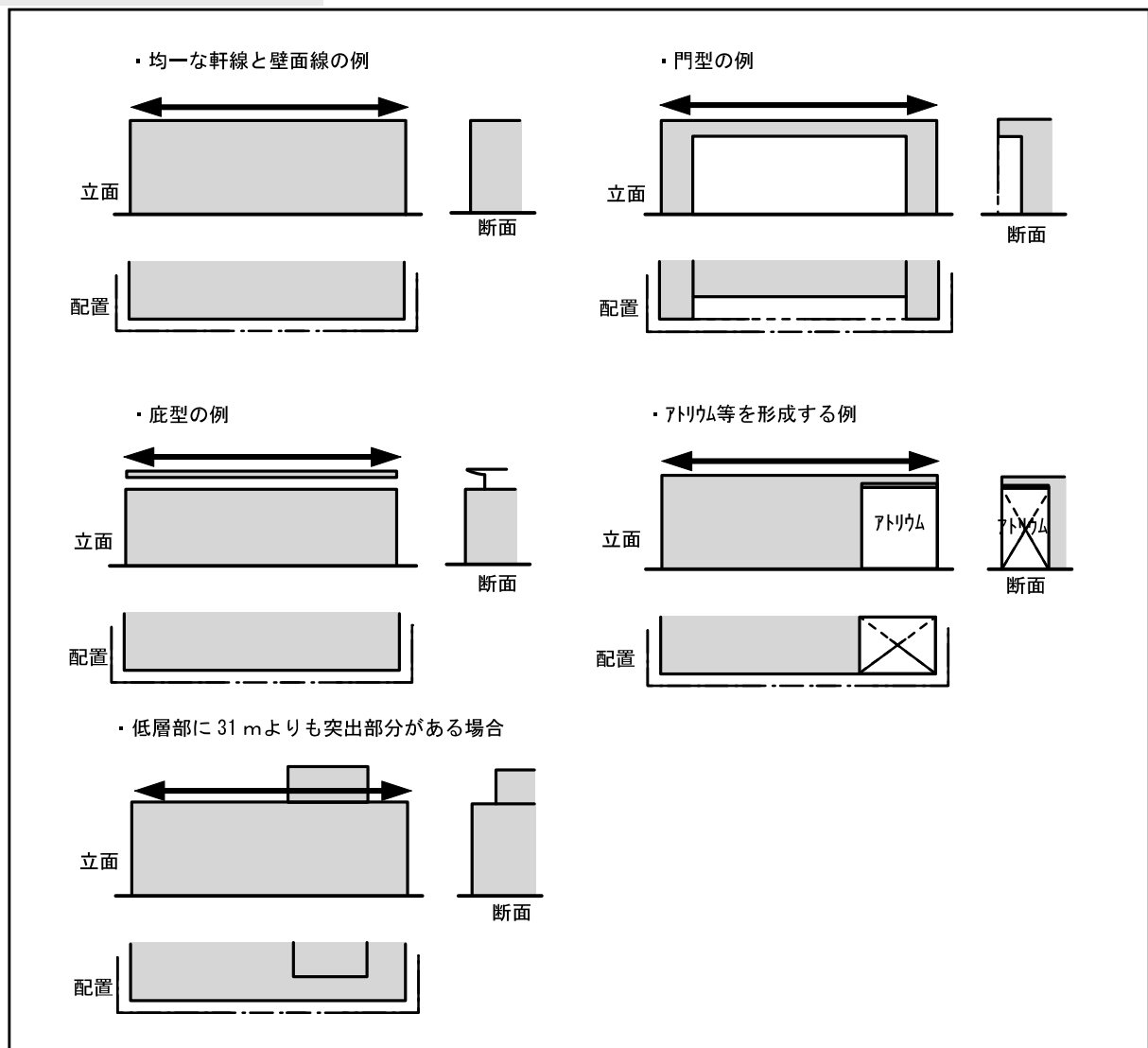
- 風格ある都心 ■ 中心となる象徴空間
- 秩序ある街並み ■ 首都東京の顔
- パノラマ的な景観

IV 個別計画の指針

対 処

- ・通り沿いに壁面位置が揃った現在の街並みを尊重すると共に、歴史的に積み重ねられてきた軒線の連続感を継承するために概ね 31 m 程度の明確な軒線・表情線の表出により、風格、統一感を醸成する。
- ・通りに面してアトリウムなどのボイド空間を設ける場合にも、概ね 31 m 程度の連続的な軒線や壁面線の連続を途切れさせないようにデザイン的な工夫に配慮する。

手 法 例



街並み調和型における明確な軒線形成の例示

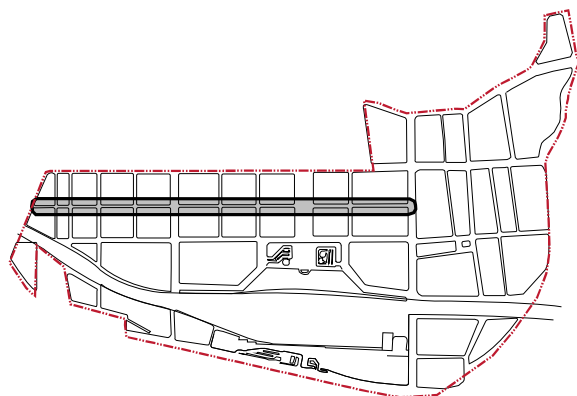
■ 賑わい機能の連続 ■

仲通りに面する建物低層部においては、立地特性や建物特性に応じて店舗や飲食店などの活性化機能、文化・交流機能等を誘導し、連続的な賑わいのある通りとしていく。



当地区内の活性化施設等の状況

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 都の魅力
- アメニティ・賑わい軸
- 連続する快適歩行路
- 見える機能
- 夜の賑わい

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物低層部は、立地特性や建物の特性に応じて店舗や飲食店を誘導して賑わいのある通りとして整備する。
- ・文化、交流、活性化機能等の連続感を主体とし、賑わい、憩い等を醸成するよう配慮する。

手 法 例



ブティックの連続する街並み（銀座）

- ・洗練されたブティックが連続することで、銀座の街に賑わいと活気を生み出している



- ・仲通りに面する店舗群が、ビジネス街に活気や賑わいを与えている

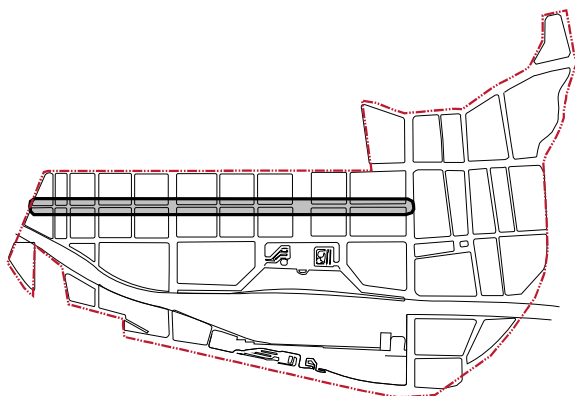
■ 足元周りのデザイン ■

仲通りに面する建物低層部の足元周りは、賑わいや活気、潤いを感じさせ、ヒューマンスケールに配慮した計画が必要である。



カウフィンガー通り（ミュンヘン）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 壁の表情 ■ アメニティ・賑わい軸
- 見える機能
- 語りかける細部
- 先端性の表現

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・ 現在通りを挟んで建物低層部の間隔が生み出している親密感の尊重や、足元周りに新たなヒューマンスケールを創出する建て替えを誘導する。
- ・ 低層部の足元周りでは、建物に応じて変化のある空間構成や目線に近い部分に建物と歩行者が対話できるようなデザインを取り入れる。
- ・ 街路灯やストリートファニチュア、舗装デザインなどの連続性に配慮する。

手 法 例



ブティックやカフェの連続する街並み（表参道）

- ・ ショーウィンドウやアルコーブ、凹凸のある壁面などの空間の変化が、街並みに連続性を与え、まちに賑わいをもたらしている

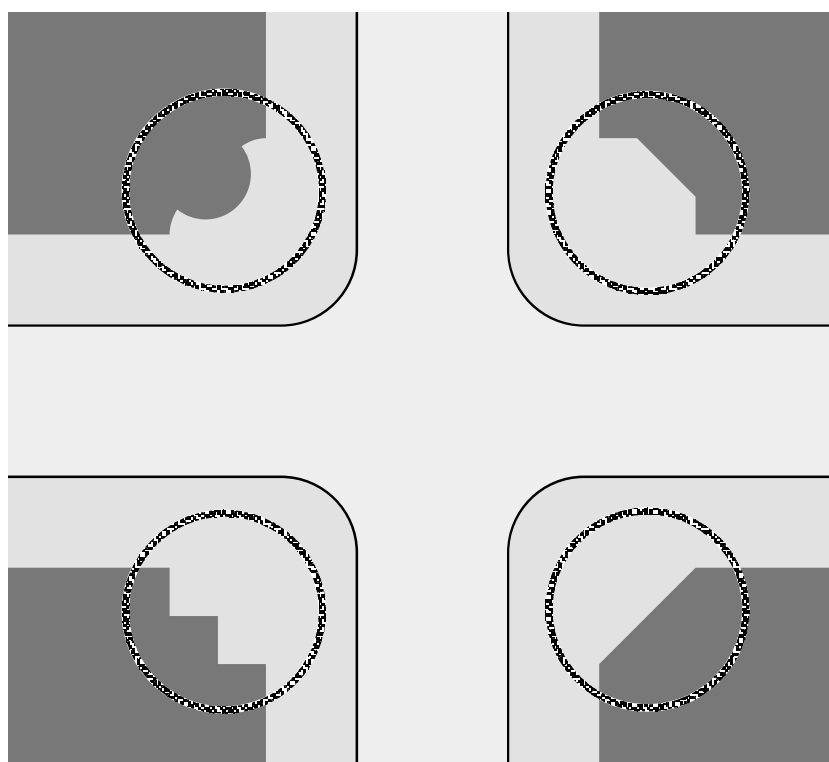


当地区店舗

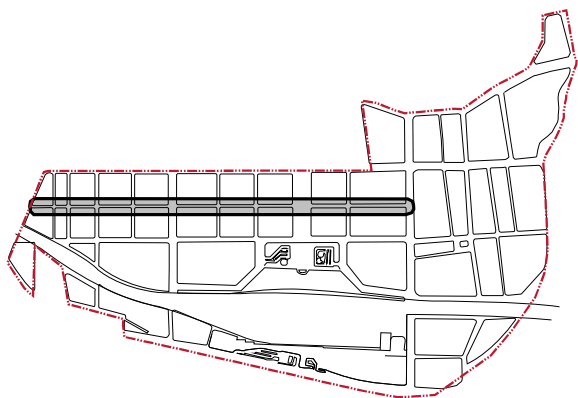
- ・ 歩道とショーウィンドウとの間に落ち着いたアルコーブのあるブティックの例

■ 街角のデザイン ■

賑わいを形成する通りでは、歩行者が歩く楽しさを味わえるように、壁面の連続だけではなく街角の表情も工夫して、憩い・安らぎの演出や視線の変化を歩行者に与えることが必要である。



建物コーナー部分のしつらえ方のパターン例

対象エリア	関連するキーワード
	<デザインマニュアルのキーワード> ■ 周囲の建物との調和 ■ 高さの分節 ■ 落ち着いた色彩 <美観地区ガイドプランのキーワード> ■ 風格ある都心 ■ 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・仲通りと東西通りの交差点周囲等では、人々が憩えるコーナー空地やアイストップとなるコーナータワーのしつらえなど、歩行者に道を歩く楽しさを感じさせる計画とする。

手 法 例



丸ビル

- ・コーナーにアトリウムを配置し、仲通り空間への連続性を生み出している



銀座ソニービル

- ・数寄屋橋交差点に面するコーナー広場は、地の利を活かしてイベント広場としても利用されている



かつての仲通りの建物

- ・コーナー部分にタワーを配して街角を演出している

■ 優しい表情 ■

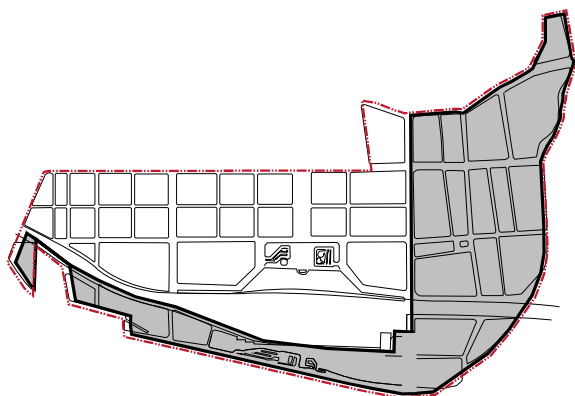
超高層ビルのまちは建物足元周りやアプローチの空間がヒューマンスケールを超えたものとなりがちである。

人々に親しまれる建物とするためには、建物足元廻りへの優しい眼差しをもったデザインが望まれる。



桂離宮（京都）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 空地から空地へ
- 向かい合う広場
- 小さな人溜まり
- 居心地の良い広場

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・高層棟の足元周りの建物デザインとして、空地デザインとの連続性やヒューマンスケールの演出、エントランス空間としてのデザイン上の工夫など人々がアプローチしやすいデザインに配慮する。

手 法 例



ファーストスクエア

- ・エントランスに向かうアプローチの植栽や大きなガラス面で構成されたエントランスなど、人々を優しく招き入れる工夫がなされている

■ 落ち着いた色彩 ■

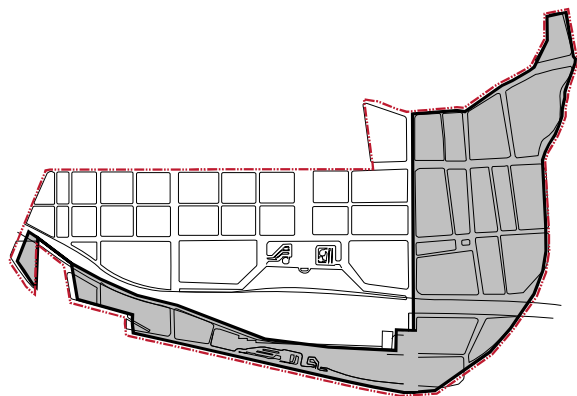
このエリアは東京駅と皇居に面する枢要な位置にある。

建物の色は、この地区の整った風格ある景観の基底をなすものであるとともに、皇居の緑と水や人々の活動風景等を引き立てるものでもありたい。



皇居の濠と大手町のビル群

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- 周囲の建物との調和
- 足元周りのデザイン
- 壁の表情

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・当地区に関わる行政の色彩基準として、東京都景観計画や千代田区景観まちづくり計画（予定）があり、建物の計画手法に対応したそれらの色彩基準に基づき計画を行う。

手 法 例



- ・それぞれの建物は、石やタイル、ガラスなど異なる素材を用いながらも、風格ある街並みを形成する落ち着いた色彩を基調としている

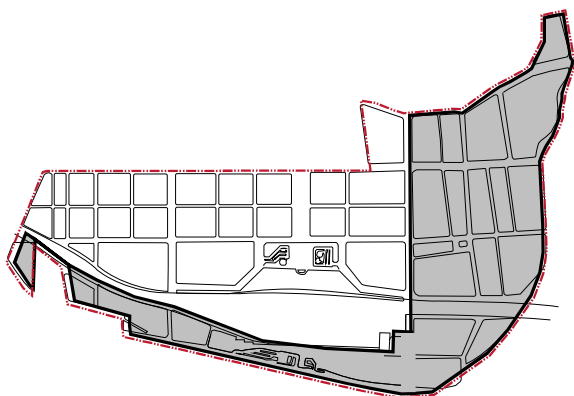
■ 居心地の良い広場 ■

都市には人々が開放感を感じリラックスすることができる素敵な広場が必要である。



一号館広場

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- ゾーン内ネットワークの拠点
- 空地から空地へ
- 向かい合う広場
- 身近な花
- 水に触れる場所
- ストリートファニチャー

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース
- 歴史にふれる水辺

IV 個別計画の指針

対 処

- ・公開空地等の計画として、適切な空間スケールや歩行者動線、建物動線との関係、緑の樹種や配置、床の素材や色、水の配置、ファニチャーやオブジェの設置等、豊かな表情を持ち誰もが訪れたくなるような居心地の良い広場とすることが望まれる。

手 法 例



さいたま新都心

- ・鬱蒼としたけやきの木陰にベンチが並べられ誰もが腰をかけたくなるような雰囲気醸し出している

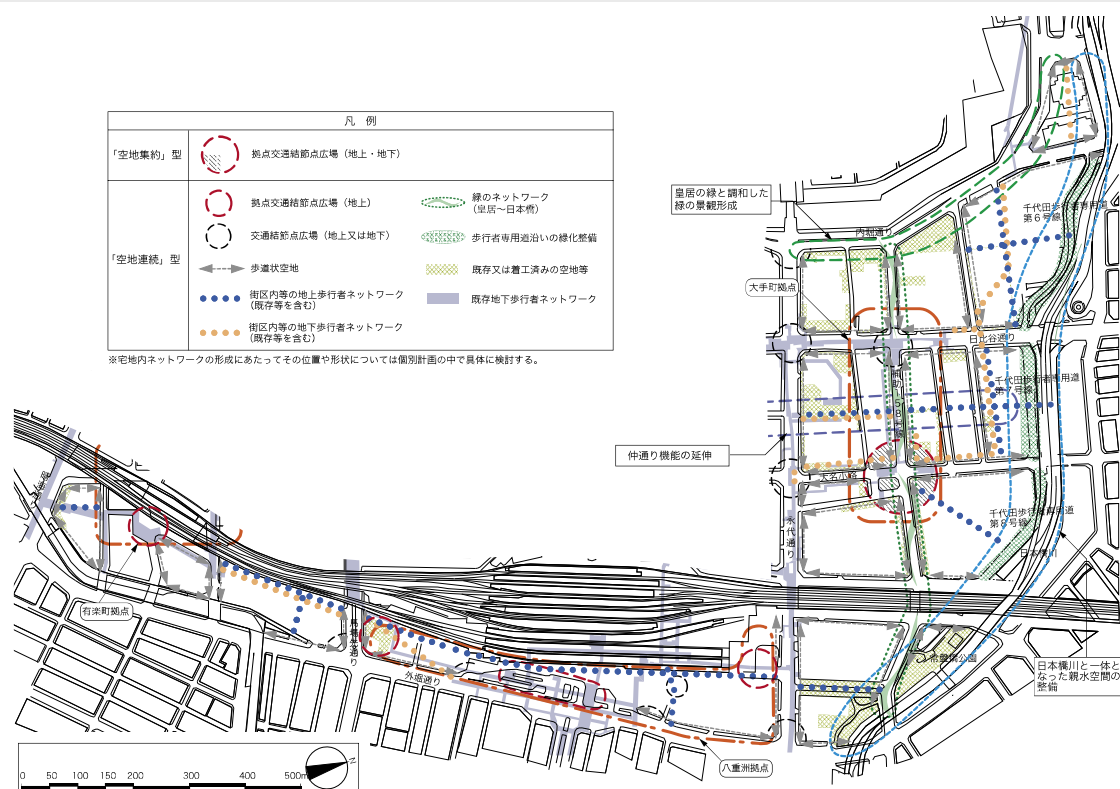


ロンドン

- ・ユーモアのあるオブジェやテイクアウトショップが配置されている

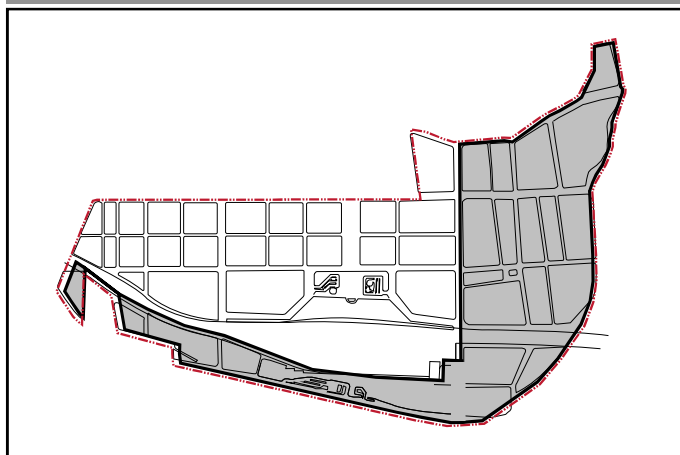
■ つながる快適な空地 ■

人々が快適に安心してこのエリアを行き交うことができるよう、敷地を超えた連続的な歩行者動線の形成やつながる開放的なオープンスペースの形成を配慮して、空地は計画されるべきである。



空地誘導コンセプトプラン（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 連続する快適歩行路
- つながる緑
- 安全で安心して
すごせるまち
- 空地から空地へ
- 向かい合う広場
- 地上地下の連絡
- 活きた通路

<美観地区ガイドプランのキーワード>

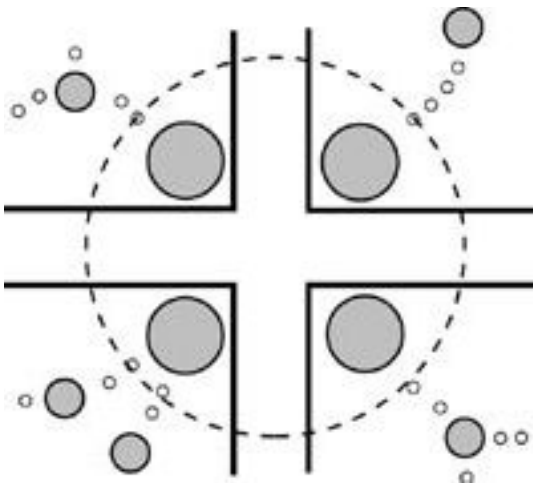
- つながるオープンスペース
- 歴史にふれる水辺

IV 個別計画の指針

対 処

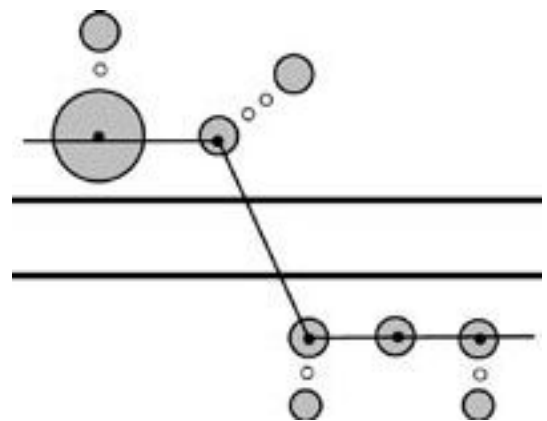
- ・このエリアの空地等の計画においては「まちづくりガイドライン」の「空地誘導コンセプトプラン」を勘案し、歩行者動線やオープンスペースのネットワーク化を実現するよう配慮する。

手 法 例



空地集約型のイメージ

- ・大手町の拠点交通結節点広場では、空地を街角に集約的に配置し、まちの中心となる広場空間を形成する



空地連続型のイメージ

- ・その他のエリアでは、周辺の敷地の空地とと連担し、連続的な歩行者ネットワークを形成する空地の形成に努める

■ 豊かな緑 ■

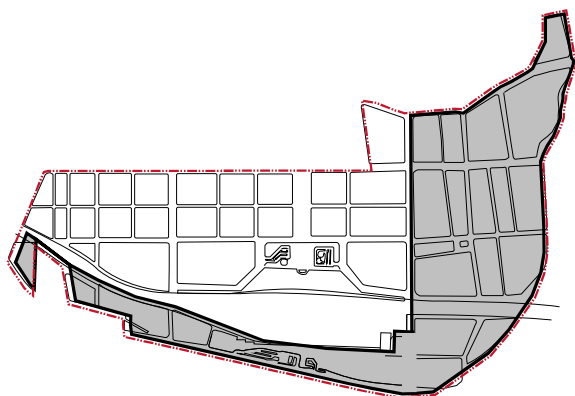
緑は都市の中で見失いがちな四季の変化や自然の営みを告げ、人の心を豊かにするものである。またヒートアイランド化の抑制やCO₂の吸収等環境面での貢献も大きい。

そのため空地にはできる限り多くの緑の配置が望まれる。



神保町上空から見た皇居の緑

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- つながる緑
- あいだの緑
- 空地から空地へ
- 見え隠れする庭
- 向かい合う広場
- 水に触れる場所
- 身近な花

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース
- 歴史にふれる水辺

IV 個別計画の指針

対 処

- ・このエリアでは、計画する空地の積極的緑化に努め、皇居から続く緑豊かなゾーンを形成していく。
- ・個々の計画における緑の量の確保については、東京都環境局「東京における自然の保護と回復に関する条例」や東京都都市整備局「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針」を参照の事。

手 法 例



三井物産ビル前の植栽

- ・敷地内の植栽と街路樹により緑豊かな歩行者空間が形成されている



さいたま新都心

- ・緑の豊かなポケットパーク

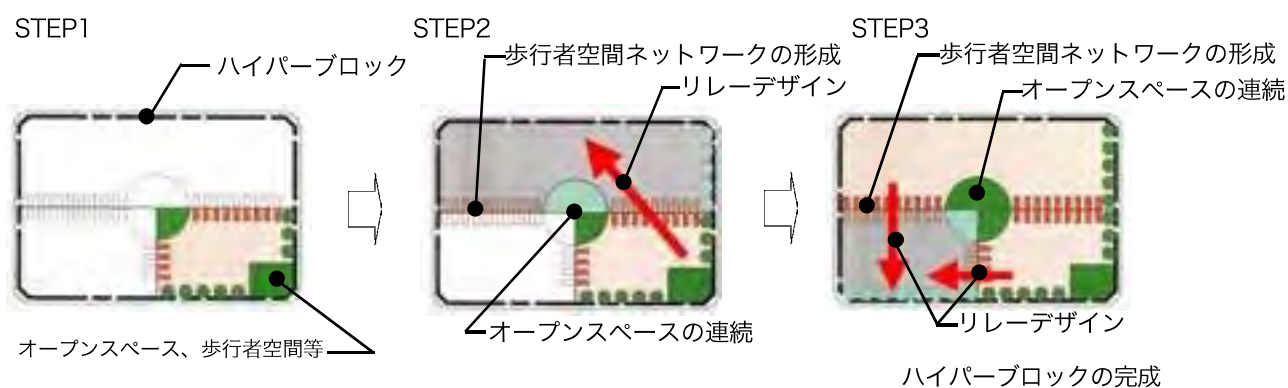


大同プラザ（江坂）

- ・屋内の緑化の事例

■ リレーデザイン ■

大手町ゾーンにおいては、2～4ha程度の規模で複数の街区を含んだハイパーブロックを計画単位とし、計画の一体性が確保されるよう総合的な空間形成を図るため、ハイパーブロック内の歩行者空間やオープンスペースの連続性、また建築物のデザインの整合性や関係性に配慮した、「リレーデザイン」による空間形成を行う。



図：ハイパーブロックの形成ステップ

出典：「まちづくりガイドライン」より

対象エリア	関連するキーワード
	<デザインマニュアルのキーワード> ■ 連続する快適歩行路 ■ つながる緑 ■ つながる快適な空地 ■ 地上地下の連絡 <美観地区ガイドプランのキーワード> ■ 風格ある都心 ■ つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

歩行者空間のデザイン

- ・ 連続性のある歩行者空間やまとまりや視認性の良いオープンスペースを形成し、まとまった量の緑空間や歩行者空間としてのデザインの一体性などを創出する。
- ・ 隣接するハイパーブロック間では、歩行者動線の円滑なネットワーク化など調和のとれた空間形成を図る。

建築物のデザイン

- ・ ハイパーブロック内での建築群としての一体性や、建物相互の色彩計画の一体性、建物低層部のヒューマンスケールなどに配慮する。

手 法 例



ドックランド（ロンドン）

- ・ 中央の広場を中心に建物の壁面線や高さ、緑の配置、人の動線等が一体的に計画されている



ポツダマープラッツ（ベルリン）

- ・ ゾーン全体の建物が暖色系のセラミックタイルで計画され、一体感のある色彩を創出している。

■ パノラマ的な景観 ■

日比谷通り・内堀通りに面するエリアでは、本地区の建物群の正面性としてお濠側から全貌が眺められる、日本でも他に例のない「パノラマ的な景観」を今後とも継承・発展させていく。このため、スカイラインの基本的な考え方を踏まえながら、歴史的に積み重ねられてきた統一感のある街並みや高さを重要なものと認識し、特に建物相互の相隣関係や皇居の水と緑のひろがりとの関係を重視した建物とする。



日比谷通り沿いの景観（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア	関連するキーワード
	<デザインマニュアルのキーワード> ■ 風格のある都市景観 <美観地区ガイドプランのキーワード> ■ 風格ある都心 ■ パノラマ的な景観

IV 個別計画の指針

対 処

- ・皇居前に広がる建物群による連続的な景観形成として、相隣する建物との高さの関係や色彩、頂部デザインのあり方など、一定の統一感の形成に配慮する。
- ・奥行感、立体感を感じさせるスカイライン構成とする。

手 法 例



リバーサイドサウス構想案（ニューヨーク）（「a+u '93 9月号別冊」より）

- ・低層部分と分節された高層棟は、低層部とのつながりを配慮しつつ頭頂部に個性を持たせることで、全体として独自のスカイラインのイメージを生み出している



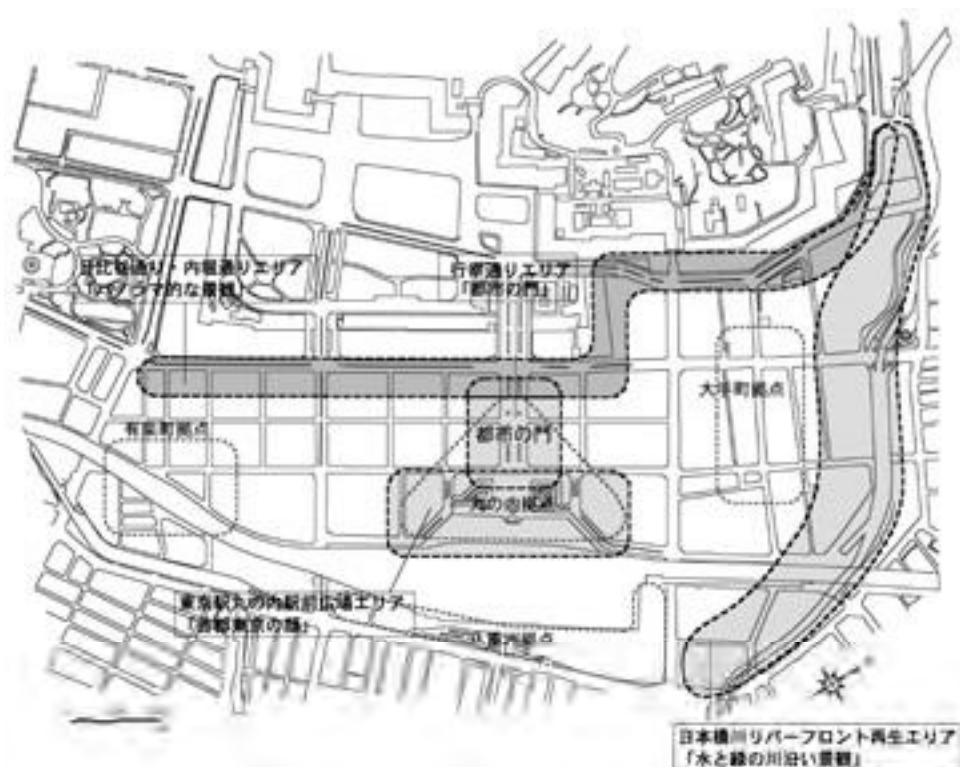
シカゴ

- ・300 mを超える超高層ビルを高さのアクセントとして、パノラマ的景観に一定のまとまりを与えている

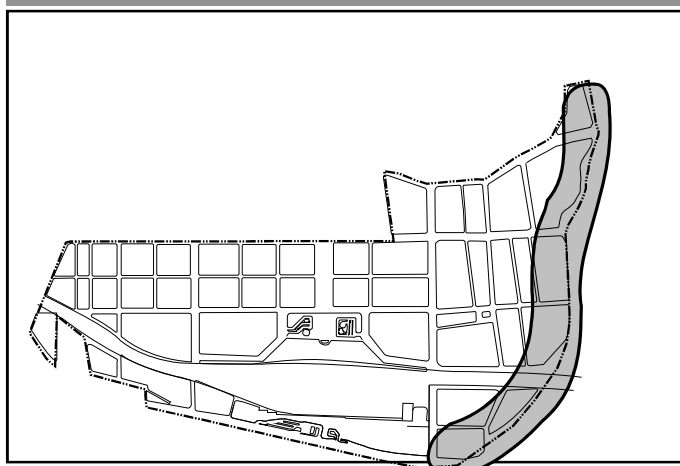
3. 公開空地ネットワーク型まちづくりのキーワード【アーバンデザインの骨格エリア／景観】

■ 水と緑の川沿い景観 ■

日本橋川に面するエリアでは、将来的な日本橋川の再生に寄与する空間形成を行う。このため、多様なアクティビティを受け入れ、周辺地区との連続性を創出するオープンスペースを確保する。特に、日本橋川に沿った視線の広がりや人の動線に配慮した水と緑の連続する、大手町を代表する景観を形成する。



対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 空地から空地へ
- 身近な花
- 壁の表情
- 水に触れる場所
- 歴史的建造物
- 活きた通絡
- ライトアップ

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- つながるオープンスペース
- 歴史にふれる水辺

IV 個別計画の指針

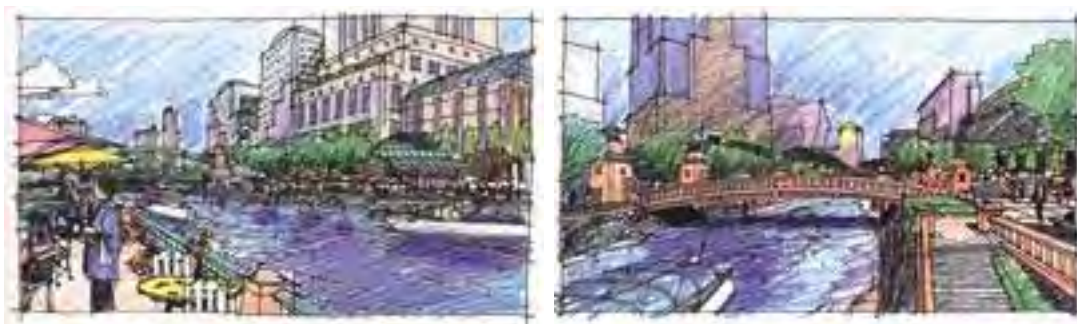
対 処

- ・日本橋川の環境整備、高速道路の地下化、千代田歩行者専用道第6, 7, 8号線の整備等に併せて親水空間としてふさわしい連続的な緑道を形成するとともに、各街区においてもこれと連携する緑等の空地や水辺への動線を形成する。
- ・日本橋川に面する建物の配置や建物の表情に配慮する。

手 法 例



日本橋川沿いの整備イメージ



日本橋川の将来イメージ (21世紀の都心・業務商業機能調査研究報告 / 平成8年 千代田区)

- ・再生された日本橋川沿いの緑やアメニティのある親水空間のイメージ図

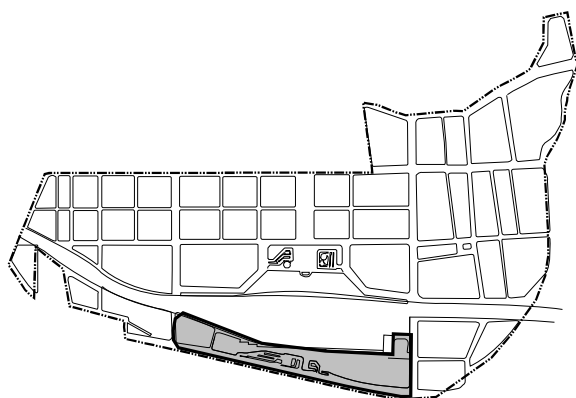
■ 玄関のしつらえ ■

八重洲拠点は、日本橋、八重洲、京橋等の各方面へ連担し、また千代田区と中央区を結ぶ主要な玄関口である。そのため各方面の玄関としてふさわしい景観の形成が望まれる。



完成予想パース

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 先端性の表現
- 優しい表情
- 居心地の良い都市の庭

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 中心となる象徴空間

IV 個別計画の指針

対 処

- ・八重洲北口、南口は各方面と結ぶ歩行者空間の充実や緑の整備に配慮する。
- ・特に八重洲中央口は八重洲通りからの眺望に配慮し、八重洲口と丸の内側を結ぶ視線の連続性や開放感を形成する。

手 法 例

- ・八重洲通りからの眺望に配慮し、丸の内側の視線の連続性や開放感を創出するとともに、八重洲側の「顔」づくりにふさわしいビスタを形成する。
- ・特に、八重洲中央口、南口、北口の出入り口部分は駅の玄関にふさわしい「駅らしさ」と「わかりやすさ」に配慮する。



レアーター駅（ベルリン）

- ・駅出口の両サイドにツインのオフィスビルが建ち、小さな玄関のしつらえを形成している。

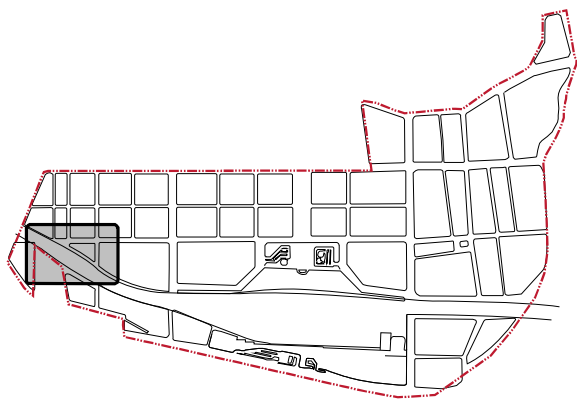
■ 多様性・回遊性の顔 ■

当拠点は本地区の南側の玄関口、また銀座や日比谷方面への人々の回遊性の起点であるとともに、これら周辺地区と連担する本地区の複合機能の拠点でもある。これらの拠点としての特性を踏まえた建物景観の形成に配慮が望まれる。



有楽町マリオンは百貨店、劇場等の複合施設であるとともに、屋内貫通通路は人々が回遊するために重要な存在となっている

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 都の魅力
- 地上地下の連絡
- 賑わい機能の連続
- 活きた通路
- 街並みに配慮したサイン
- 夜の賑わい

<美観地区ガイドプランのキーワード>

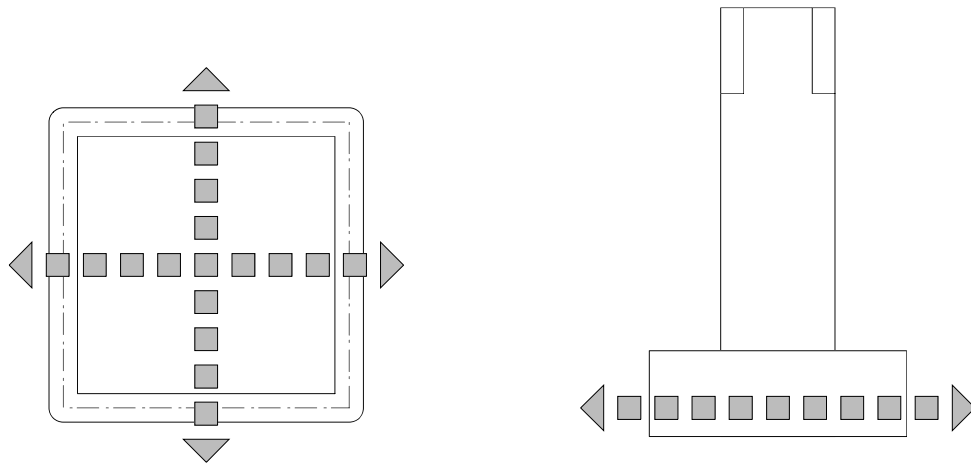
- 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物の足元廻りの貫通通路等の設置によるゆとりある歩行者空間の形成や、多様な複合機能を建物デザインに反映するなど、特徴ある拠点建物デザインに配慮する。

手 法 例



- ・平面計画、断面計画のなかに回遊性を創出する貫通通路等を計画する



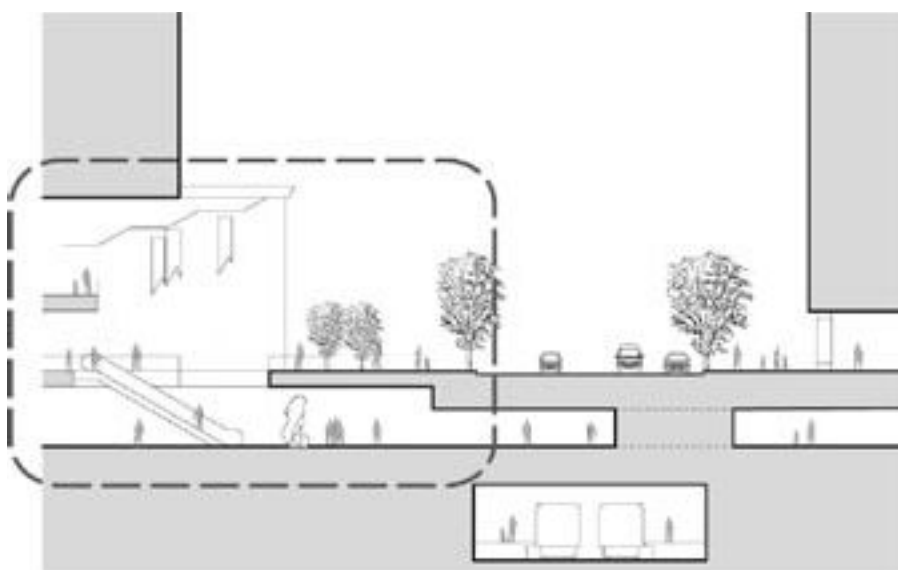
複合機能ビル（シカゴ）

- ・低層部（物販）、中層部（オフィス）、高層部（ホテル）、最上部（住居）という複合機能を立面計画に反映した事例

■ ゾーン内ネットワークの拠点 ■

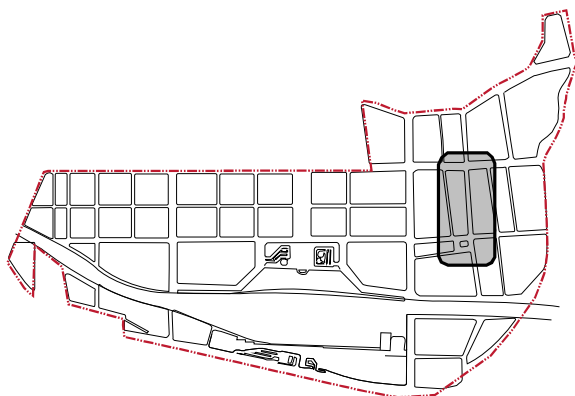
本拠点は大手町ゾーンの中心に位置し、且つ地下鉄駅間や主要道路の交通結節点でもある。

このため多くの人々の往来に対応した歩行者ネットワークの起点であると同時に、賑わい、安らぎ、楽しみ等の人々の活動の中心となる必要がある。



大手町の間領域の例（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 優しい表情
- 居心地の良い都市の庭
- 空地から空地へ
- 向かい合う広場
- ストリートファニチャー
- 地上地下の連絡
- 活きた通路

<美観地区ガイドプランのキーワード>

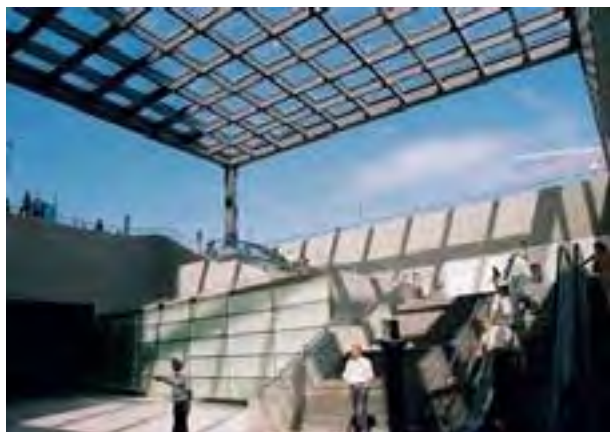
- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物足元周りの各方面へ連担する地上地下歩行者ネットワークの形成や、一定の規模を有する複合機能化、緑の整備やイベント等の活動に対応した広場の整備を行う。
- ・ゾーンの中心にふさわしい建物としての象徴性の醸成等に配慮する。

手 法 例



ベルリン

- ・外光の入る地上地下歩行者ネットワーク結節点



ロンドン

- ・外部空間にカフェを出し賑わいを演出している

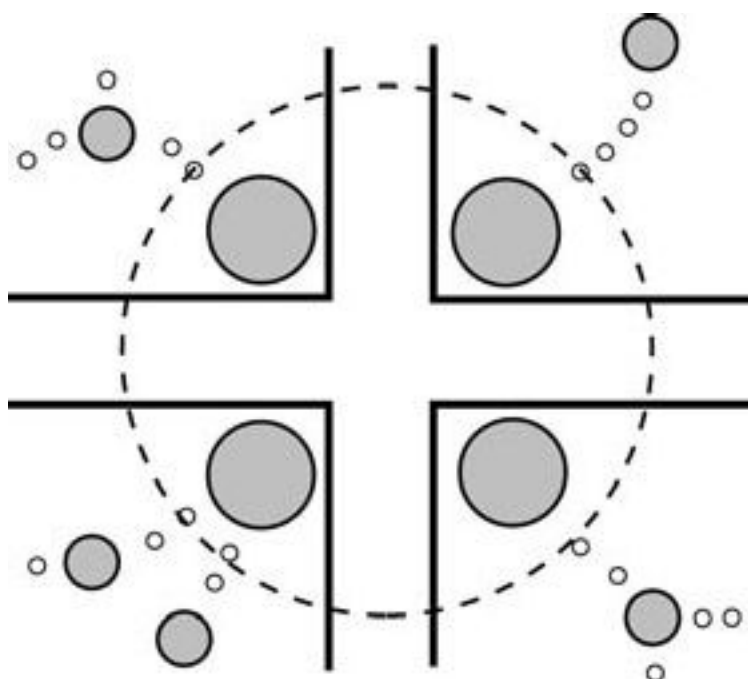


クイーンズスクエア横浜 ステーションコア（横浜市）

- ・地下鉄駅と地上とを吹き抜けて連続させている交通結節点

■ 向かい合う広場 ■

大手町ゾーンの中心となる大手町拠点では、広場を集約し地上地下の接続性や歩行者動線の連続性に配慮した一体的な広場を充実させていく。



空地集約型のイメージ（「まちづくりガイドライン」より）

対象エリア	関連するキーワード
	<デザインマニュアルのキーワード> ■連続する快適歩行路 ■つながる緑 ■つながる快適な空地 ■地上地下の連絡 <美観地区ガイドプランのキーワード> ■風格ある都心 ■つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・大手町拠点では、空地进行を交差点周辺に段階的に集約的に配置し、既に完成している公開空地と連携させることにより、まとまりあるオープンスペースを創出し、人々の集える活動的で豊かな広場空間の形成を図る。
- ・また地上と地下の一体的整備により歩行者動線の連続性に配慮した計画とする。

手 法 例



大手町野村ビル

- ・建物更新に伴い、3方向を公道に面する開放感のある大規模な公開空地を形成している



大手町拠点広場のイメージ

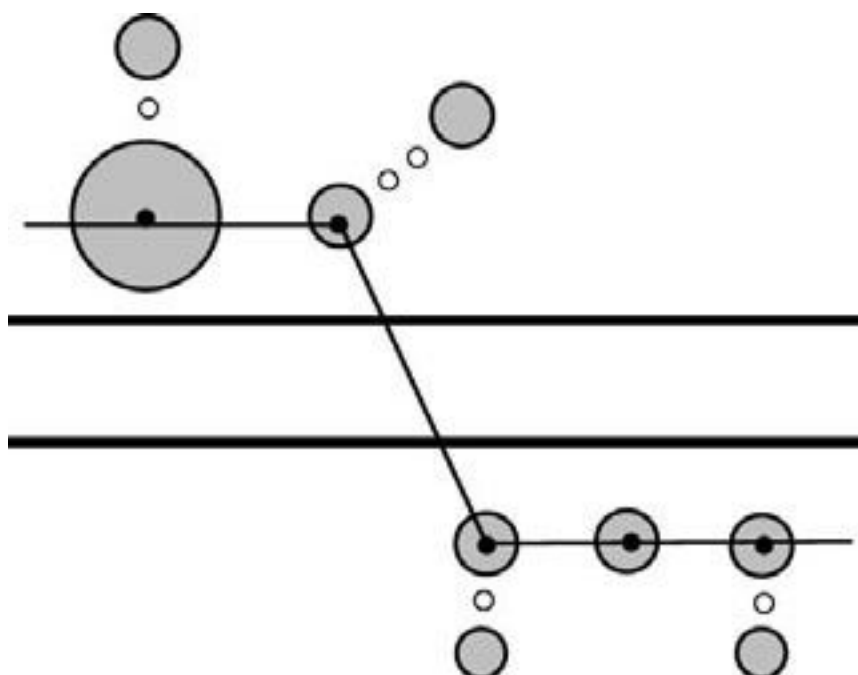
(「まちづくりガイドライン」より)

- ・中心となる空地と、それに面する街区の空地を集約的に配置することにより、一体的・効果的な利用を図る

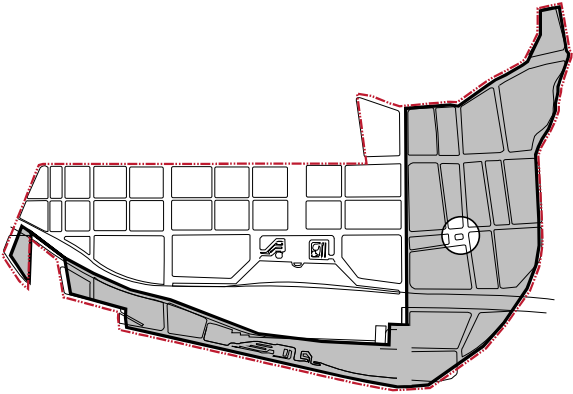
3. 公開空地ネットワーク型まちづくりのキーワード 【大手町拠点交通結節点以外／ネットワーク、環境】

■ 空地から空地へ ■

隣り合う街区や敷地で空地や歩行者空間を連続させていくことにより、わかりやすく快適で楽しく歩ける歩行者ネットワークが整備される。



空地連続型のイメージ（「まちづくりガイドライン」より）

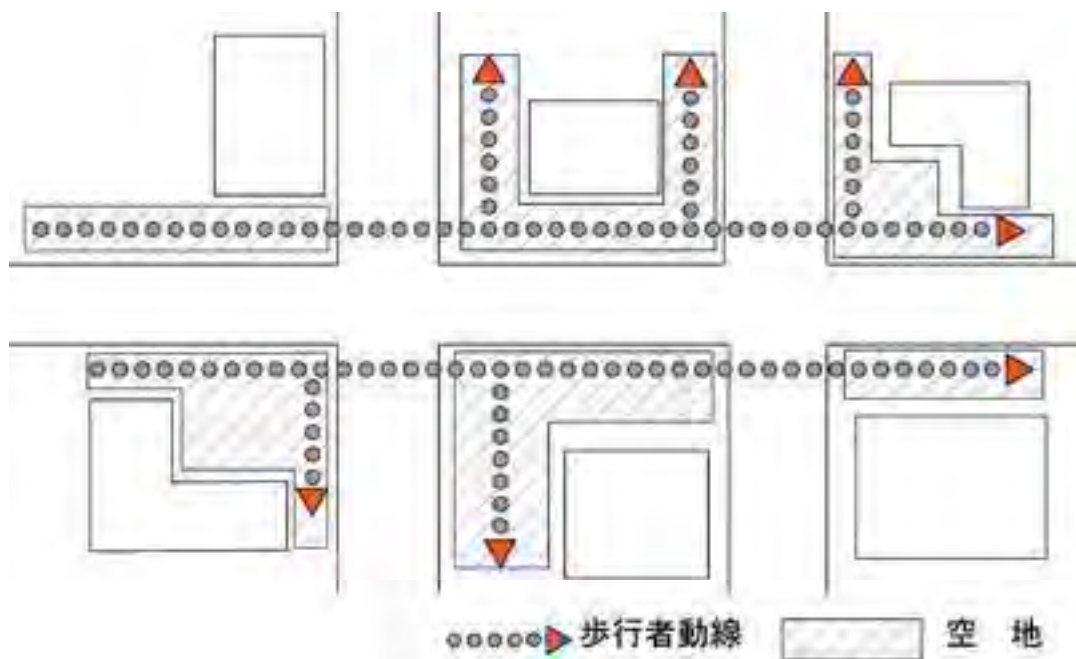
対象エリア	関連するキーワード
	<デザインマニュアルのキーワード> ■連続する快適歩行路 ■つながる緑 ■つながる快適な空地 <美観地区ガイドプランのキーワード> ■つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・大手町ゾーン、八重洲ゾーン、有楽町ゾーン東側の各街区では、空地を通り沿いに連続して配置したり、街区内に貫通通路を設置することにより、快適で利便性の高い歩行者ネットワークの形成を図る。

手 法 例



- ・空地を街路沿いに連続的に配置し、また街区内に貫通通路を設けることで、連続する歩行者ネットワークが形成される

3. 公開空地ネットワーク型まちづくりのキーワード 【大手町拠点交通結節点以外／ネットワーク、環境】

■ 仲通り機能の延伸 ■

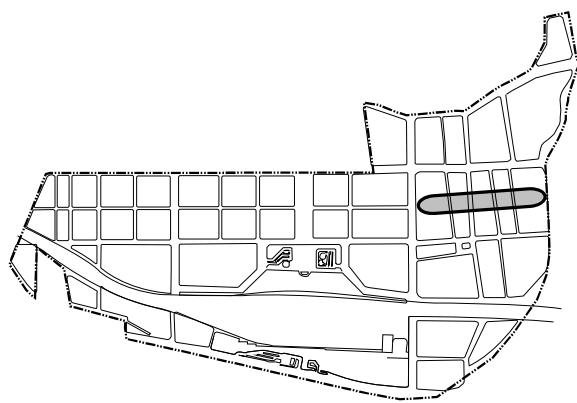
有楽町・丸の内地区の歩行者の中心軸である仲通りを、大手町地区においても連続した民地内の人々の憩い機能空間として延伸し、本地区を貫く快適な歩行者の中心軸を形成する。

■ 街区及び仲通り機能延伸部のコンセプトイメージ



(出典：大丸有懇談会「まちづくりガイドライン」より)

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 都の魅力
- 地上地下の連絡
- 賑わい機能の連続
- 活きた通路
- 街並みに配慮したサイン
- 夜の賑わい

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

大手町地区における仲通り機能の延伸は、人と環境にやさしい賑わい軸とし、ヒューマンスケールの憩い空間の形成やゆとりあるオープンスペースの形成、まとまった量の緑の配置を行うとともに飲食施設等の賑わい機能の設置にも配慮する。

手 法 例

■ 仲通り機能延伸イメージ



(出典：大丸有懇談会「まちづくりガイドライン」より)

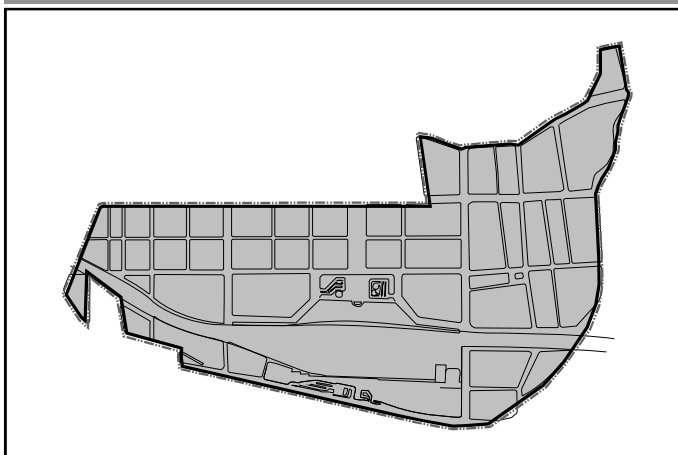
■ 壁の表情 ■

表情の豊かな壁は、建物の個性を伝える。そして多様な個性が一つの調和のもとに集まった時、風格あるまちの表情が現れてくる。



東京国際フォーラム（丸の内）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 明確な軒線
- 優しい表情
- 落ち着いた色彩
- 周囲の建物との調和
- 語りかける細部
- 材質の選択

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・地区の風格や歴史にふさわしい素材の活用や組み合わせ、内部機能の表出、まちを歩く人々の視線やまちの構成を配慮したデザイン、周囲の景観と調和した色彩を採用すること等により、壁は人々にとって表情豊かなものとなるように配慮する。

手 法 例



明治安田生命館

- ・石材の重厚感と調和した窓や照明のデザインによって風格のある壁の表情がつくられている



大手町野村ビル

- ・ガラス、石材等の利用により旧建物の表情を壁の中にイメージ保存している

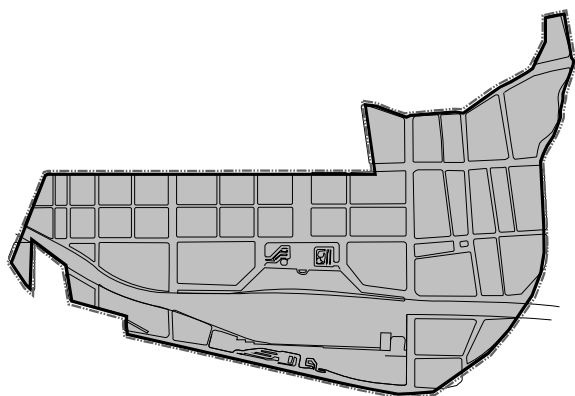
■ 語りかける細部 ■

建物のコーナーやエントランスなどの目立つ部分に、つくった人のぬくもりや技を感じさせる小さな表情あるデザインが施されていることで、道行く人々はその細部を見て建物と対話することもできる。



かつて本地区に存在した赤レンガ建物のエントランス上部の装飾

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 先端性の表現
- 歴史的建造物
- 足元周りのデザイン
- 優しい表情

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・ 格調あるオフィス街や賑わいのある街として、質の高い洗練された装飾をデザインに取り入れ、特徴ある場所とするよう心がける。

手 法 例



大手町野村ビル

- ・ 旧建物のイメージ保存の例。コーナーの小さなタワーが人の目を集める



DNタワー 21

- ・ エントランス廻りの装飾が建物に風格と格調の高さを与えている

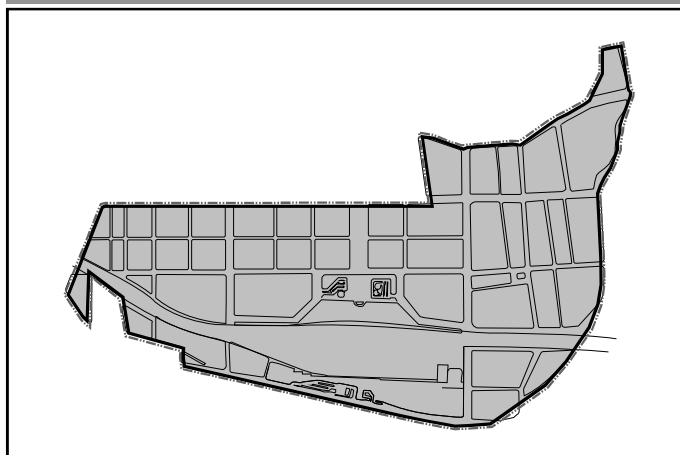
■ 歴史的建造物 ■

時代を超えて存在する建造物は、営々と積み重ねられてきたまちの歴史を何よりも饒舌に語りかけてくれる。これらの建造物に敬意を払い、私達の誇りとして大切にしていきたい。



明治生命館（丸の内）【重要文化財、歴史的建造物】

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 風格ある都心景観
- 先端性の表現
- 壁の表情
- 語りかける細部

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・地区内に点在する歴史的に貴重な建造物は、その維持・保全、活用に努め、地区の財産として次代へ継承するよう努める。

手 法 例



大手町野村ビル

- ・旧建物のイメージ保存の例。コーナーの時計塔がかつての建物の姿を彷彿とさせる



東京銀行協会ビル

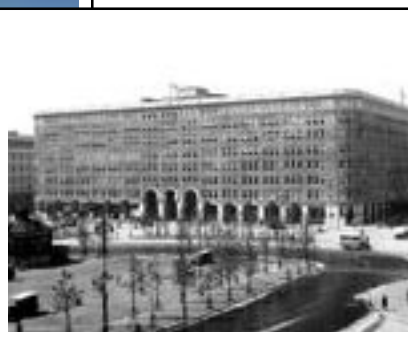
- ・旧建物のイメージ保存の例。赤レンガや窓まわりのデザインが歴史を物語る

■ 先端性の表現 ■

オフィス街として時代の先端を切り開いてきたことで創られてきた歴史を尊重するとともに、さらなる先端性を表現をしていくことで、新たな歴史が刻み込まれていくであろう。



三菱第一号館（明治 27 年）



丸ビル（大正 12 年）

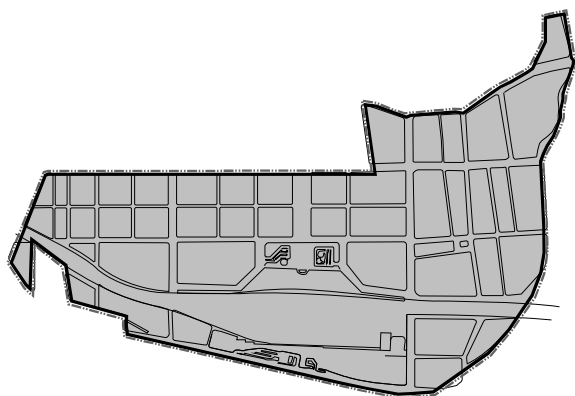


東京海上日動ビル
（昭和 49 年）



新丸ビル（平成 19 年）と PCP ビル（平成 13 年）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

<美観地区ガイドプランのキーワード>

IV 個別計画の指針

対 処

- ・エリアとしての調和や風格の中にも、「可能性に出会える街」という本地区のキャッチフレーズにふさわしい新たな先端性をリードする試みを計画の中に表現するように工夫する。
- ・これまで蓄積されてきた歴史や文化、技術や都市環境を尊重した上で、新しい試みを積極的に取り入れて先端性の表出をはかる。

手 法 例



東京国際フォーラム・ガラス棟

- ・全長約 210 m、高さ 58 mのアトリウムの大屋根は、2 本の大柱と大胆なトラス構造梁で支持されている

東京サンケイビル

- ・Low-e 複層ガラスとエアバリアファンの採用により、全面透明ガラスによる開放的で快適な執務空間を実現している



大手町野村ビル

- ・かつての建物外観イメージを一部再現するとともに、全面ガラス張りの透明感あるアトリウムを公開空地として計画している

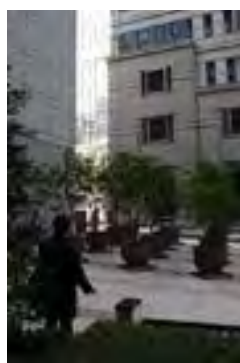


■ ストリートファニチャー ■

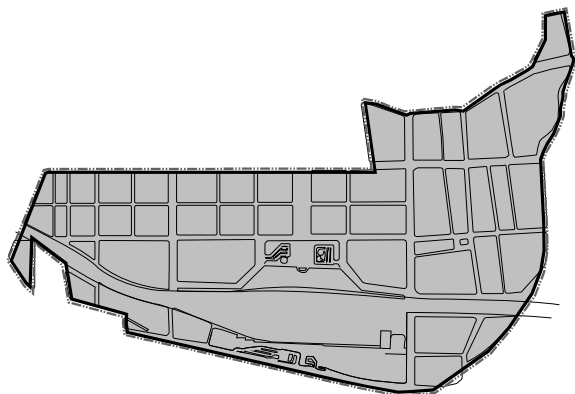
敷地内にあるストリートファニチャーは、街路景観にアクセントを加え、人々が楽しく散策できる個性や特徴ある空間を創出する。



大手町野村ビル広場



対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 足元周りのデザイン
- 座れる場所
- 活きた通路
- 小さな人溜まり

<美観地区ガイドプランのキーワード>

IV 個別計画の指針

対 処

- ・街路景観を構成するストリートファニチャー等は、建物や通り、空地の性格等と調和するように配置や意匠、素材感・色彩などに配慮する。

手 法 例



逓信総合博物館前

- ・街区のコーナーに配置されたアクセント的なストリートファニチャー



東京国際フォーラム

- ・敷地内部の空地に配置された柔らかなイメージのストリートファニチャー

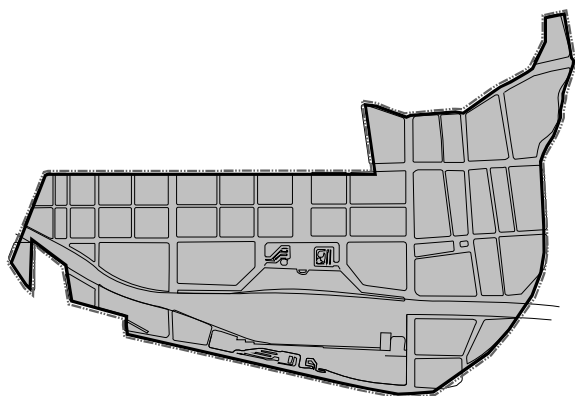
■ 街並みに配慮したサイン ■

サインやウインドウ内広告は、情報を伝える機能とともに、建物や歩行者空間の表情を伝える重要な景観要素となっている。自己主張するだけでなく建物や街並みを引き立てるサインや広告を心がけたい。



ニューヨークのショーウインドウ

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 落ち着いた色彩
- 活きた通路
- 連続する快適歩行路

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

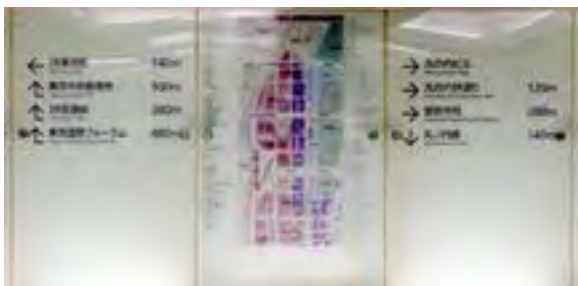
- ・歩行者空間のサインやウインドウ内広告などは、風格ある景観との調和に配慮し、ふさわしい配置や形態、意匠、色彩などに配慮する。
- ・ビルの足元廻りの公的空間や、駐車場のサインについては大・丸・有協議会発行の「サインデザインマニュアル」を参照の事。
- ・尚、屋外広告物等の掲出にあたっては、大丸有懇談会による「屋外広告物ガイドライン～仲通り周辺エリア編～」を参照の事。

手 法 例



仲通りのショーウインドウ

- ・仲通りの品格や連続感を損なうことがないように、ウインドウ内ディスプレイや店舗サインは洗練されたものとなっている



大・丸・有協議会「サインデザインマニュアル」に基づくサイン事例

- ・統一性あるサインにより、まち案内の利便性を高め、美観も創出している

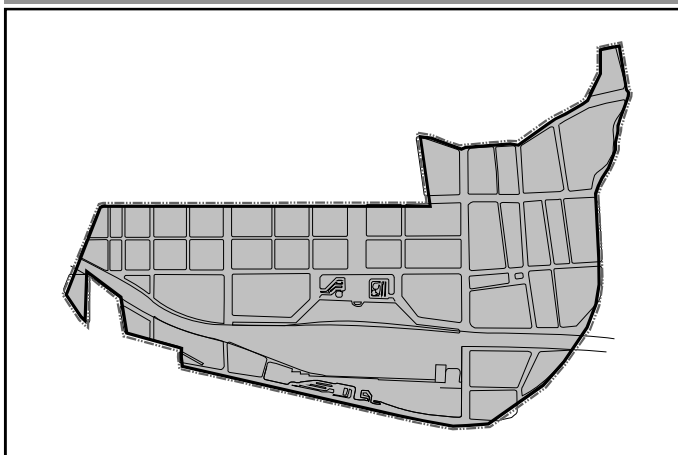
■ 材質の選択 ■

建物の低層部や足元周りを中心に、外観を構成する主な材質については、その組み合わせやデザインを含め、まちの品格や風格を表現し、連続感ある街並み創出に寄与し、また人々の心を豊かにするような味わいあるものでありたい。



大手町フィナンシャルセンター 足元周り

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 優しい表情
- 落ち着いた色彩
- 周囲の建物との調和
- 語りかける細部
- 壁の表情

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 秩序ある街並み

IV 個別計画の指針

対 処

- ・本地区においては、建物群や街並みとしての品格や風格の醸成の観点から、「本物」の味わいある材質や素材を活用することが望ましい。
- ・また建物のエイジングの勘案や、仕上げのあり方の検討、管理運営面からは汚れが目立ちにくい材質を選択するなど、総合的な観点からの検討が望まれる。

手 法 例



新丸ビル

- ・鉄骨にアルミ鋳物を取り付けた重厚感のある柱と透過性の高いガラスによる現代的構成



三菱一号館

- ・味わい深い風合いのレンガや職人の手の痕跡が感じられる石材等によりヒューマンスケールが活かされている



日本工業倶楽部会館

- ・繊細なデザインのあるエイジングを経た石材や、風格を感じさせる金属ドアが建物の歴史性を物語る

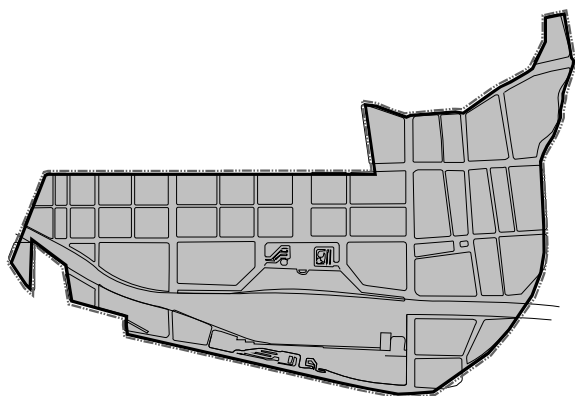
■ 見える機能 ■

建物の内部の機能や人々の活動をまちを歩く人々に見えるようにすることで、建物の内と外が一体となり、まちに賑わいや活気、親しみやすさをもたらすことができる。



読売広告社ビル（銀座）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 連続する快適歩行路 ■街角のデザイン
- 賑わい機能の連続 ■壁の表情
- 活きた通路
- 足元周りのデザイン

<美観地区ガイドプランのキーワード>

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物を外部に対して閉鎖的にするのではなく、まちを歩く人々から建物内部が見えるようにする。
- ・通りの性格や敷地の特性などに応じて、建物廻りに配された機能が、歩行者などからわかりやすいように空間構成や意匠などを工夫する。

手 法 例



丸ビル

- ・ガラス面で構成され、店舗の様子が歩道部分から見て取れるようなデザインとなっている



東京国際フォーラム

- ・ガラス面と柱で構成された店舗。中庭を行き来する人々からも店舗内部の様子を伺うことができ、建物内部も街並みを形成する1つの要素となっている

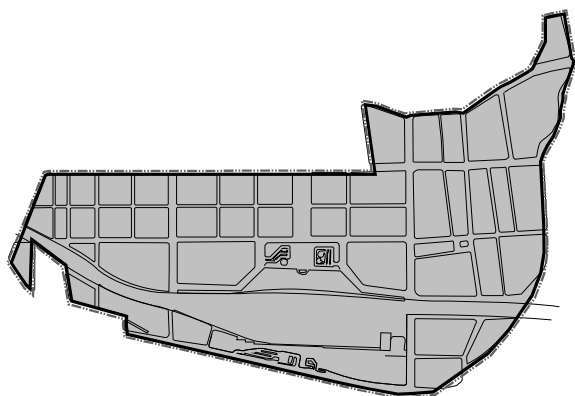
■ 夜の賑わい ■

地区内のオフィスで仕事を終えた人々だけでなく、様々な人々が訪れるまちにはくつろぎと賑わいのある場所が必要である。



ニューヨーク 6 番街の夜景

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 『都』の魅力
- 多様性・回遊性の顔
- 活きた通路
- ライトアップ

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 文化の香るまち

IV 個別計画の指針

対 処

- ・店舗のしつらえやショーウィンドウなどの演出を工夫し、夜の賑わいやくつろぎを創出するよう心がける。（詳細については第VI章のライティング・マニュアル参照）

手 法 例



日比谷シャンテ（日比谷）

- ・ショーウィンドウや街灯など夜のまちを照らす灯りは、まちに賑わいと活気をもたらす



かつての「グランマルシェ」夜景（仲通り）

- ・イベント時における賑わいと楽しさを感じさせる演出



夜間のショーウィンドウ

- ・シャッターを利用したショーウィンドウは、閉店後もまちに賑わいをもたらす

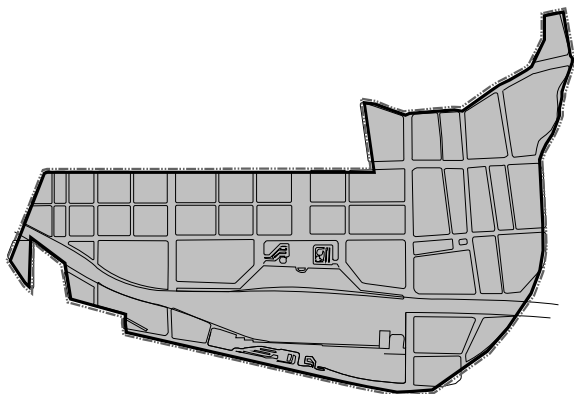
■ 身近な花 ■

人工的なオフィス街に何気なく置かれた花々は、まちに季節感や彩りを添えるとともに、人々を癒し大きな安らぎを与えてくれる。



仲通り（フラワー・ウィークスのイベント）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 居心地の良い広場
- 座れる場所
- 小さな人溜まり

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物の足元廻りやアプローチ空間などに、身近に接することができる花を配置することにより、人々に四季の変化や安らぎを感じさせる空間づくりに配慮する。

手 法 例



DNタワー 21

- ・歩道に沿って連続的に配置された花壇が、歩行者空間に親しみや季節感を与える



ファーストスクエア

- ・動線方向に沿って置かれたフラワーポットが、空間にアクセントを与え、人々をエントランスに導く優しいアプローチ空間を形成している



仲通り

- ・イベントに対応したハンギングバスケットの演出

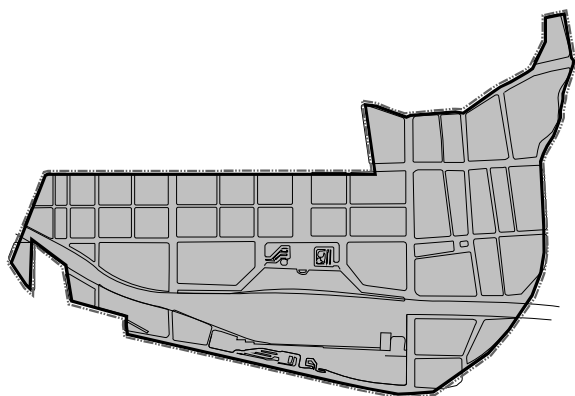
■ 水にふれる場所 ■

水辺は人々を引きつけ、あきることのない景観を提供してくれる。水との身近なふれあいはオフィス街に貴重な潤いと憩いを与えてくれる。



皇居外苑 噴水公園

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 小さな人溜まり
- 居心地の良い広場
- 活きた通路

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 歴史にふれる水辺

IV 個別計画の指針

対 処

- ・敷地内に水を配し、ゆとりと安らぎを与える場所づくりに心がける。

手 法 例



りそな・マルハビル

- ・敷地内に水辺空間を配置することによって、建物周りにはうろちのある空間となる。水とあわせて花や緑を効果的に配置することは、その効果を一層高める事となる



三井物産

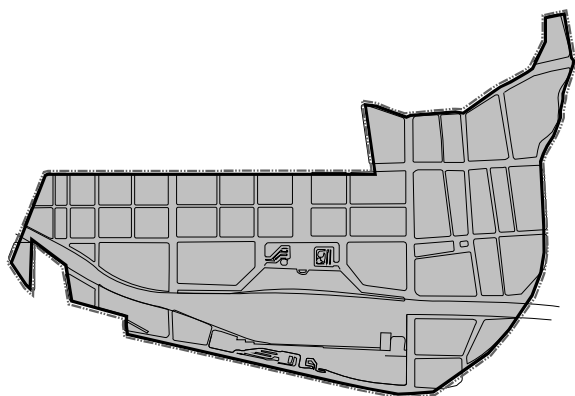
■ 小さな人溜まり ■

広い空地は、ただそれだけでは人々は通り過ぎてしまう。部分的に囲われた小さなたまりや座れる場所などを設けることで、人々は安心して立ち止まりくつろぐことができる。



フィナンシャルセンター前

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 座れる場所
- 居心地の良い広場

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・建物廻り、公開空地などには、ひとときのくつろぎや会話を楽しむことのできるたまりの場所を設けるように心がける。
- ・柱や植栽、ベンチなどを効果的に配置することで、人が安心して佇むことのできる領域を創り出す。

手 法 例



東京国際フォーラム

- ・植栽を利用して配置されたベンチは、木陰をつくり、うるおいをもたらす居心地の良い溜まりの場所となる



ファーストスクエア

- ・建物の壁面や柱を効果的に利用して形成される小さな空間は、落ち着きのある溜まりの場所となる

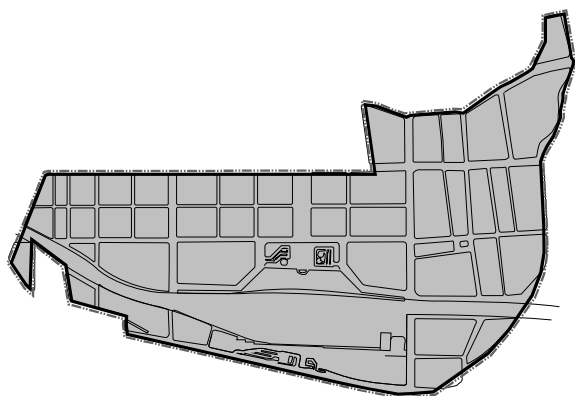
■ 地上地下の連絡 ■

多くの来街者や就業者にとって、地上と地下の歩行空間がわかりやすく接続されていることは、安全かつ快適に目的地に到達するために必要不可欠なことである。



シティコープセンター（ニューヨーク）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 連続する快適歩行路
- 居心地の良い広場
- 活きた通路

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・地下空間の快適性の向上に努めるとともに、地上との接続性を高めて外光の導入や動線の連続性を確保するなど、わかりやすく立体的な魅力ある空間形成に心がける。

手 法 例



東京国際フォーラム 地下鉄出入口

- ・建物とマッチしたガラスや曲線による造形により、人々を地下へと導く特徴的な空間を形成している



大手町ファーストスクエア・サンクンガーデン

- ・ヒューマンスケールで開放的なサンクンガーデンにより、地上の広場と地下店舗群を連続的に結んでいる



新宿アイランドタワー

- ・地上への開放性が高く、テーブルやベンチ、植栽などによって、人々の憩いの空間となっている

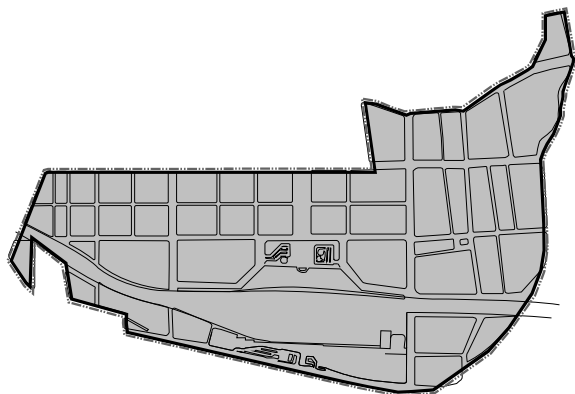
■ 活きた通路 ■

通路は、賑わいを持たせる工夫を施すことで人々の歩行を誘う楽しい場所となり、活気のある場所や人々の集まる場所をつなぐ活きた通路となる。



ニューヨークの建物内貫通通路の例

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 多様性・回遊性の顔
- 賑わい機能の連続
- 連続する快適歩行路

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

IV 個別計画の指針

対 処

- ・貫通道路などは、人の気配や活気、また効果的な光の導入など生き生きとした歩きやすい空間となるように計画する。

手 法 例



有楽町マリオン

- ・照明やサイン、アートなどを効果的に利用した賑わいのある建物貫通通路



ファーストスクエア

- ・高い吹き抜けと大きなガラスの開口部によって明るい開放的な建物内部通路



敷地内貫通通路（千代田区）

- ・大街区の中央部を通りと通りを結んで通り抜けられるように配置された緑あふれる公開空地

V

公的空間の指針

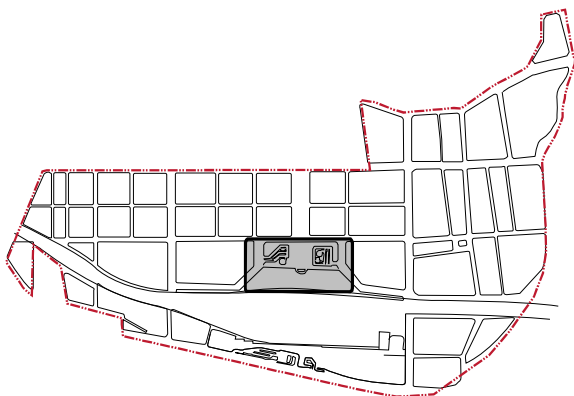
■ 中心となる象徴広場 ■

東京駅丸の内駅前広場は、赤レンガの駅舎と一体となって創出される本地区の中心的広場であり、東京の玄関口でもある。首都東京の「顔」にふさわしい景観を形成するとともに、うるおいと風格のある都市空間を整備し、交通、交流、観光、防災、プロトコールなどの各種機能を備えた広場環境の創出を図っていく。



昭和7年頃の東京駅丸の内駅前広場

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 首都東京の顔
- 都市の門
- 連続する快適歩行路
- つながる緑
- 落ち着いた色彩
- 風格ある低層部
- 壁面の連続

<美観地区ガイドプランのキーワード>

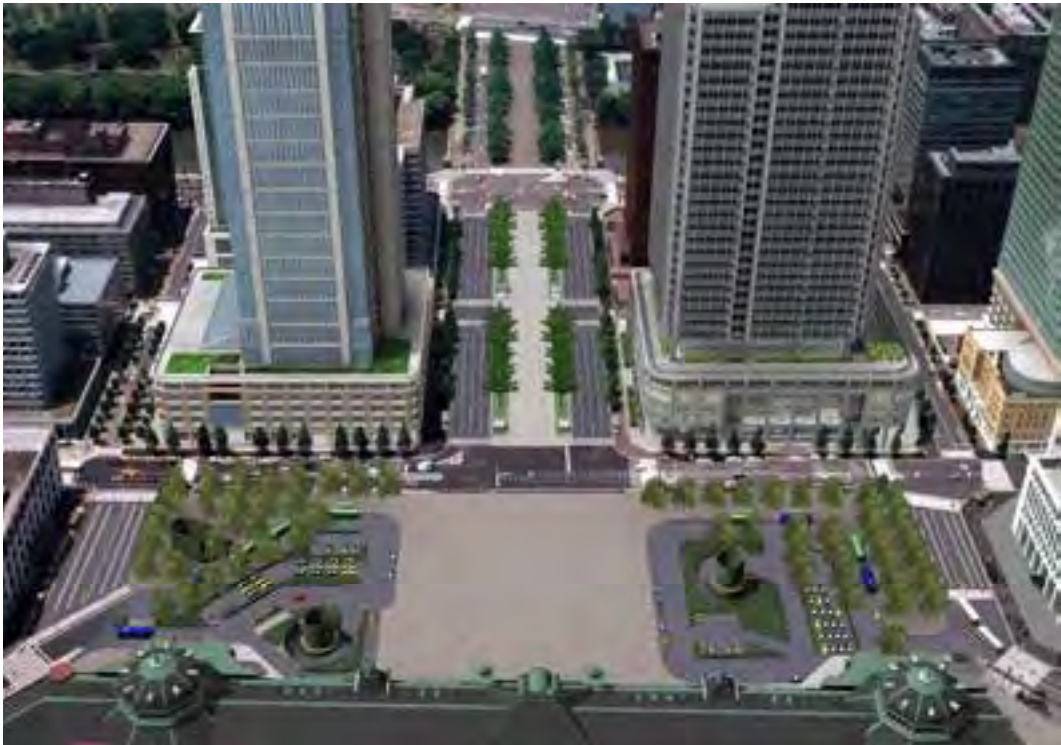
- 中心となる象徴空間
- 首都東京の顔

V 公的空間の指針

対 処

- ・丸の内駅前広場は皇居・行幸通り及び赤レンガ駅舎や周辺建物との調和を図り、うるおいと風格のある都市の空間として整備するとともに、広場中央には人々が憩い・くつろげる空間や植栽等環境にも配慮した多様な機能を有する「都市の広場」を整備し、東京の「顔」づくりを推進する。
- ・都市観光に配慮し、首都東京の顔に相応しいシンボル性に満ちた景観を形成する。
- ・また、地下部についても周辺開発にあわせて、東京駅周辺の地下歩行者ネットワークや交流の拠点として整備を推進する。

手 法 例



「東京駅丸の内口周辺トータルデザイン・フォローアップ会議」資料より（中間検討資料）

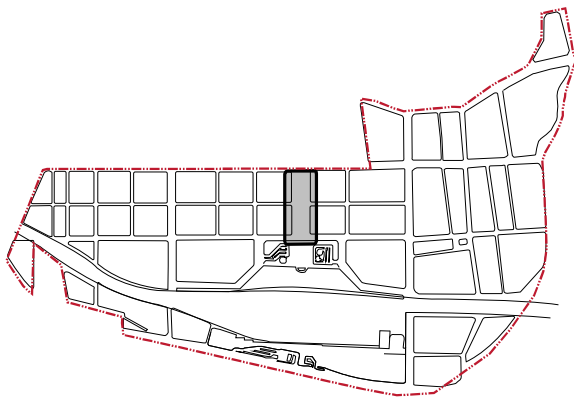
■ 象徴軸 ■

東京駅と皇居を結ぶ行幸通りは、日本を代表する象徴的な景観軸であり、東京駅と駅前広場、そして皇居を含めた一体的な空間として捉え、皇居から東京駅赤レンガ駅舎へのアイストップ・ビスタ景を保全し、格調高い豊かな街路景観を継承していくとともに、安全で快適な歩行者空間の整備を図る。



パリ 凱旋門からの軸線（シャンゼリゼ通り）

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 都市の門
- 風格ある都心景観
- 風格ある低層部
- 象徴的な風格
- 壁面の連続
- 連続する快適歩行路
- 明確な軒線
- つながる緑

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- 風格ある都心
- 秩序ある街並み
- 中心となる象徴空間
- 首都東京の顔

V 公的空間の指針

対 処

- ・皇居～赤レンガ駅舎を結ぶ「景観軸」を形成するとともに、歩行者軸の形成に配慮した整備を行う。
- ・皇居前広場から丸の内駅前広場までを連続した一体の格調高い公的空間として捉え、植栽の配置や樹種、街路灯などの街路景観を構成する施設のデザインに配慮する。
- ・行幸通りの中央部をオープンスペースとして歩行者に開放し、植栽や街路灯、舗装などを適切に整備することにより、皇居と東京駅をつなぐ中心動線として快適な歩行者空間を形成する。

手 法 例



「東京駅丸の内口周辺トータルデザイン・フォローアップ会議」資料より

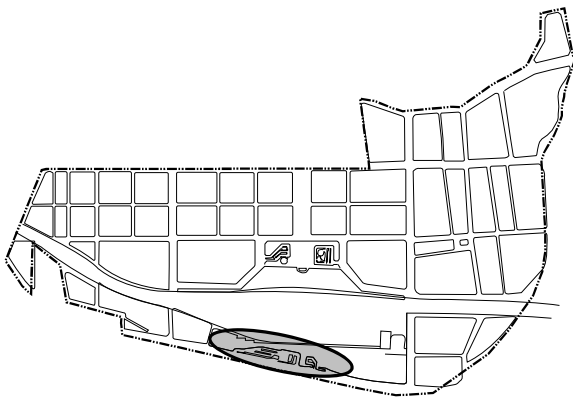
■ 開放的な広場 ■

新しい東京駅の顔として、周辺建物と調和した未来を象徴する玄関口としての駅前広場空間を確保し、緑の創出と合わせ、八重洲側の顔づくりを実現する。



八重洲駅前広場の再整備イメージパース

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 玄関のしつらえ
- 連続する快適歩行路
- 地上地下の連絡
- 居心地の良い広場

<美観地区ガイドプランのキーワード>

- つながるオープンスペース

V 公的空間の指針

対 処

- ・駅前広場と周辺建物との一体的な整備を行うことで、広場空間と建築空間が融合した駅前広場空間を創出する。
- ・植栽等の緑の配置により八重洲側における「顔」づくりを推進する。

手 法 例



・広場とデッキのイメージパース

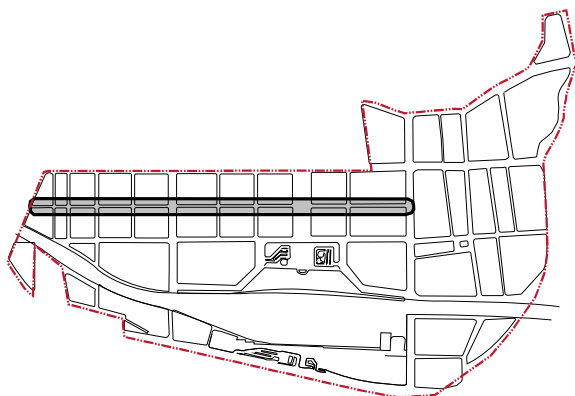
■ アメニティ・賑わい軸 ■

仲通りは、本地区の有楽町・丸の内・大手町の3拠点を結ぶ、人々の活動が中心となる回遊性の軸である。そのためヒューマンスケールで賑わい・潤いのある、就業者・来街者にとって安全快適で歩く魅力にあふれる、本地区の都市の居間空間として整備していく。



丸の内仲通り

対象エリア



関連するキーワード

<デザインマニュアルのキーワード>

- 連続する快適歩行路
- 街角のデザイン
- 都の魅力
- 見える機能
- 賑わい機能の連続
- 足元周りのデザイン

<美観地区ガイドプランのキーワード>

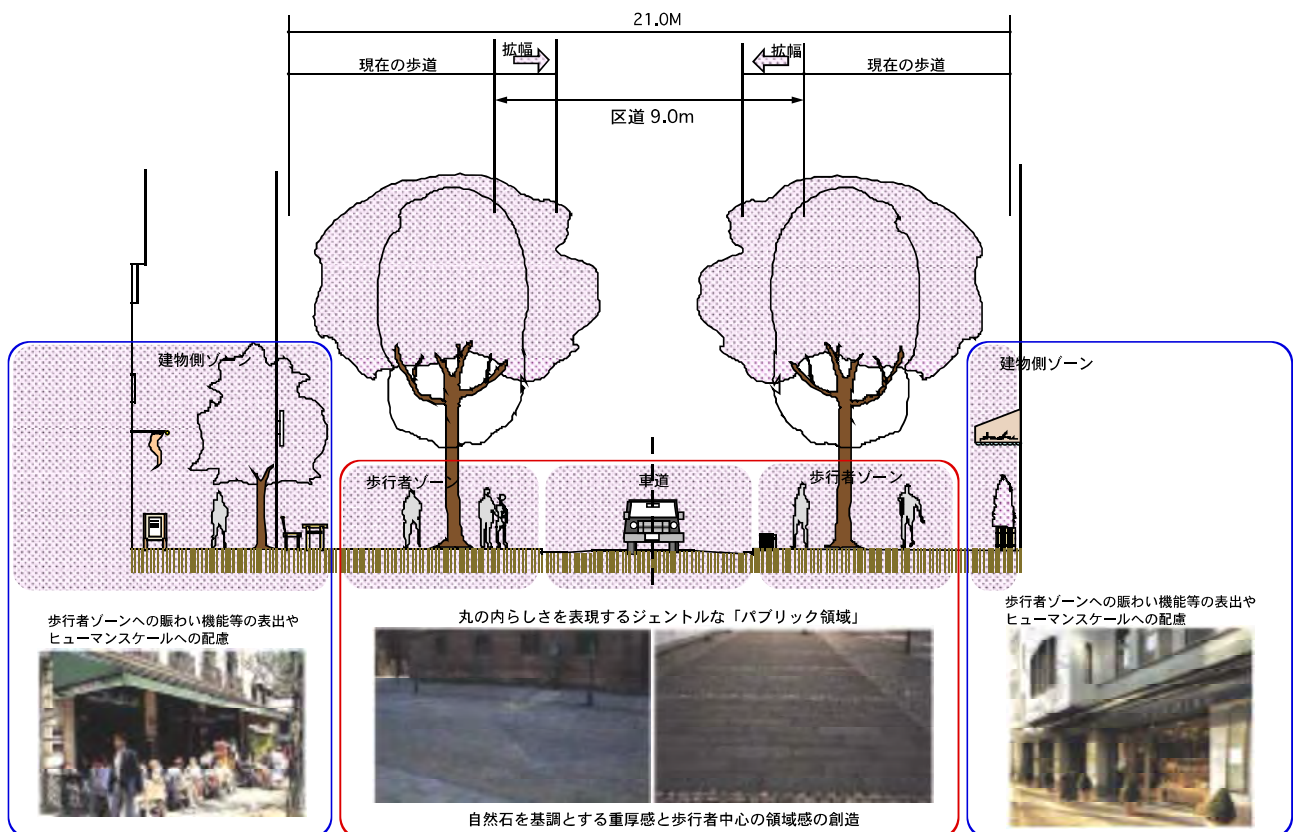
- 秩序ある街並み
- 文化の香るまち

V 公的空間の指針

対 処

- ・歩行者が優先した通りとして車道の縮小と歩道の拡幅による人々の活動範囲の拡大、向かい合う歩行者空間と車道の計画的なペイブメントデザイン、歩車道の段差解消、領域感や季節感を感じさせる緑の再整備、アートワークの設置等により通りとしての一体感・連続感を醸成する。
- ・交差点部におけるコーナーの演出や情報表示の集約、各街区部分での特徴ある店舗機能の賑わい感の滲み出し等、道行く人々が歩く楽しさを感じまたまちの構造がわかりやすいものとしていく。

手 法 例



仲通り断面イメージ

VI ライティング・マニュアル

(1) 目 的

東京都「危機突破・戦略プラン」における「首都東京の顔」の創出、「10年後の東京～東京が変わる～」における外国人旅行者をはじめとした都市観光の振興や国際交流の展開に本地区の夜景景観としても寄与する事、及びこのライティングに係わる電力について再生可能エネルギーの活用としてクリーンな電力の利用拡大を支援する仕組み（グリーン電力証書システム等）の普及促進を図る事を目的とし、来街者や就業者等の夜景の眺望や享受、また個別計画での過度なライティングの防止、効率的な点灯時間の設定等社会的状況を勘案した中で、本地区の特性を反映した高質で品格があり、一体感・統一感のある夜景の創出を行う。

尚、本ガイドラインは個別計画においてライティングを行う際の誘導内容を示すものである。

(2) ライティングの前提条件

1) 視点場の設定

視点場として、東京の広域都市構造や本地区のまちづくりガイドラインに基づく建物高さの関係から、新宿副都心や臨海副都心等本地区から数kmを超える遠景として本地区の夜景景観を眺望できる視点場は存在しないため、中景、近景として以下の主たる視点場を設定する。(尚、ビル上層部等からは銀座、八重洲、神田・秋葉原方面等からも本地区の部分景観としての眺望が可能のため、これらの視点へも配慮が必要である)

中景視点場



①中景視点場(本地区全体の夜景を美しく見渡せる視点場)

概ね1km～2km程度の範囲から本地区の特徴的な夜景スカイラインが眺望できる皇居周辺の半蔵門側、皇居北側・南側エリア及び皇居前広場を設定する。

②近景視点場(本地区の街並みや特徴的な広場や建築等の夜景を見るための視点場)

日比谷通り、仲通り、行幸通りといった特徴ある通りの視点場、丸の内駅広やその他の特徴ある広場の視点場、歴史的建造物等の個別建築物を眺望する視点場を設定する(視点場は後述)。

2) 対象者の設定

夜景を眺望する対象者としては、中景視点場に存する建物内のビル就業者、ホテル利用者、居住者及び皇居前広場の観光客など、近景視点場としては当地区内ビル就業者や、日常及びイベント時の都市観光等を目的とした来街者を想定し、これら対象者が中景・近景として本地区らしい夜景を眺望、体験し、愉しむことができる効果的なライティングの内容や点灯時間等を設定する。

(3) ライティングの考え方

以下の4点を夜景創出の考え方の柱とする。

1) 美的景観照明と環境共生をセットで実現するライティング

眺めて美しい夜景の創出のみではなく、クリーンな電力の使用に加え効果的な点灯時間・時期の設定等エネルギーの効率的利用がセットで実現される計画的なライティングとする。また、今後当地区で展開が想定される様々な環境共生施策の一つとして位置づける。

2) 人の感性を豊かにするライティング

一方的な光の演出のみではなく、光が存在することによる闇や影の演出等、人間のもつ感性を豊かなものとするライティングとする。

3) 本地区の都市構造や資産を活かした夜景景観の創出

東京駅を中心として皇居前に位置する事による風格や品格、日本を代表する国際業務センター、複合機能の街、隣接する皇居の闇空間との対比や協調、すり鉢状のスカイラインや拠点ビルを中心とした当地区のアーバンデザイン上の地区特性の表現、また特徴的な通りや広場、歴史的建造物等を活かした夜景の形成等本地区独自の都市構造や歴史的資産等を活かした夜景景観を創出する。

4) 本地区にふさわしい夜景景観としての光の色や質への配慮

華美な演出を排し、本地区にふさわしい品格や落ち着き、また一体感や連続性のある光の色や質の確保に配慮する。

(4) ライティングの方針

1) 中景ライティングについて

①中景のコンセプト

- ・本地区にふさわしい品格ある光で本地区の都市構造を夜景景観として表現し、「訪れてみたい、眺めて美しい地区」の創出を図る。

②ライティングの方針

- ・基本的にビル頂部のライティングとする。
- ・本地区の特徴あるスカイラインを夜景として表現し、本地区にふさわしい品格や統一感を創出するため全体としてビル頂部を白色系の光でライティングする事が望ましい。
- ・東京駅赤レンガ駅舎や丸の内駅広、行幸通りといった、本地区の中心性を表現するために丸の内拠点のビル頂部は暖色系の光のライティングとする事が望ましい。



- ・丸の内拠点を暖色系とすると東京駅赤レンガ駅舎、丸の内駅広、行幸通りといった本地区の中心性が表現される。
- ・丸の内拠点以外の白色系のライティングについてはホテル等の機能を導入する際や建物外壁の色彩との関係から色温度が高めの暖色系のライティングも可能とする。

イメージ図



- ・将来像の検討として、合同庁舎敷地、大手町拠点、有楽町拠点のビルを想定として加えた。

--

①近景のコンセプト

- ・ 当地区の特色ある通りや広場、歴史的建造物・特徴ある建物などそれらの特性に応じたライティングにより当地区の魅力を際立て、「歩きたくなる街」の創出を図る。

近景視点場の設定

- ・現況特性に基づくものであり今後の計画の進捗等により適宜見直しを行う。



②ライティングの方針案

ア. 特徴的ある通り

a) 日比谷通り (視点場 1)

- ・お濠端の 31m ラインの連続性が感じられる軒線や壁面のライティング等を行い通りとしての連続性を創出し、お濠への映り込みとともに夜景として印象的な街並みを演出する。

現況、参考事例

- ・日比谷通り現況（日比谷通りの夜景とお濠への写り込み）



- ・水辺への映り込みの事例
ザルツブルグ



- ・連続する壁面ライティングの事例
ロンドン ピカデリー・サーカス



VI ライティング・マニュアル

b) 仲通り（視点場 5・6）

- ・賑わい・アメニティ軸である仲通りの上質で居心地の良いヒューマンスケールの空間はアイレベルを重視し、店舗ファサードからこもれる光や連続する街路灯等により快適で上質な環境を演出する。
- ・イベント時などは一定の品格あるライティングにより賑わい性やアメニティ性を高める演出を行う。

現況、参考事例

・仲通り通常時



・2006 年末ライティング



・祝祭性、イベントの事例



ウィーン グラーベン通り

・祝祭性、イベントの事例 2



ニューヨーク ロックフェラーセンター

c) 行幸通り（視点場 15）

- ・皇居の歴史性や自然環境に対応した穏やかな光によって、当地区の都市夜景の中心に日本的感性や歴史的な香りを表現する。尚イベント時等の対応として馬車道部植栽のライティング等も検討する。

「東京駅丸の内口周辺トータルデザインフォローアップ会議」イメージ案



東京駅方向



皇居方向

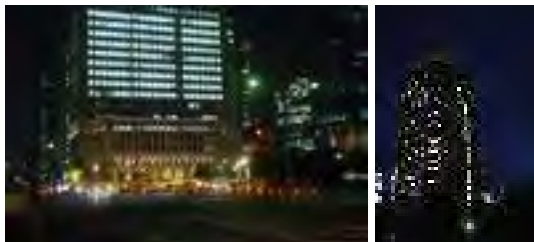
イ．広場

a) 丸の内口駅前広場（視点場 10）

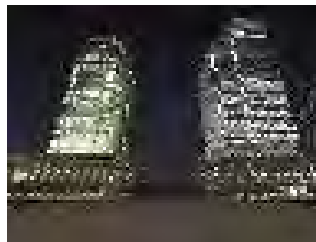
- ・日本、東京の玄関口としての象徴性や、31m の壁面で囲まれた歴史的な空間性を表現する。

現況、参考事例

・丸の内口の現況



・ライティングイメージ例



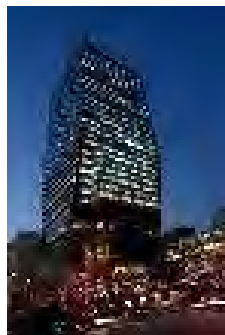
丸ビル・新丸ビル

b) 大手町拠点広場（視点場 13）

- ・周辺街区の広場のライティングと連携し、人々が集まり開放性や賑わいの感じられるライティングを行う。

現況、参考事例

現況



サンケイビル

現況



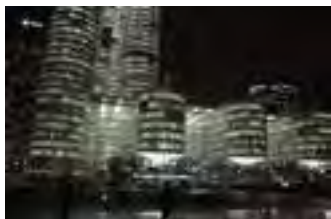
大手町野村ビル側

c) 八重洲口駅前広場（視点場 14）

- ・八重洲口として品格、シンボル性や新しさに配慮したライティングを行う。

参考事例

・新しさを感じさせるオフィスのライティング例



パリ デファンス

・商業施設の品の良いライティング例



パリ ルイヴィトン

VI ライティング・マニュアル

ウ．歴史的建造物、特徴ある建築物等

- ・歴史的建造物等は、連続する街並みの中でその特徴あるデザインがアイストップとなり、歴史性や場所性、ヒューマンスケール等を感じさせ街を歩く愉しみを深めるものである。よってそれぞれのデザイン特性を活かした光と陰のコントラストやアメニティを感じさせるライティングを行う。

○歴史的建造物等

a) 明治安田生命館（視点場 2）

- ・列柱と軒線を強調したライティング



b) 日本工業倶楽部会館（視点場 11）

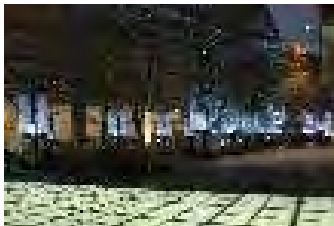
- ・軒線とエントランス廻りの強調
- ・時間経過による照明のフェイドアウト



○特徴ある建築物等

c) 東京国際フォーラム中庭（視点場 8）

- ・光都東京 2006 のライティング①



- ・光都東京 2006 のライティング②



エ．その他

- ・公園や歴史的遺構等は都市の貴重な景観資産であり、夜景に独自の魅力を加えるものとしてイベント時等の適切なライティングが求められる。

現況、参考事例

a) 噴水公園からの眺め（視点場 3）

- ・光都東京 2006 のライティング①



b) 噴水公園（同左）

- ・光都東京 2006 のライティング②



c) 和田倉橋、石垣と緑（視点場 16）

- ・光都東京 2006 のライティング



(5) 管理・運営など

1) 環境配慮等の内容

- ・省エネや自然エネルギーで発電されたグリーン電力等、再生可能エネルギーの使用を進める。

2) 点灯時間

- ・概ね夕刻から終電までのライティングとし、在街人口や時間帯に応じて照度を落としていく等省電力を配慮した運営とする。

3) ライティングイベント等に係わる配慮事項

- ・彩度の高い強い光の利用や、点滅や回転等の動きを伴う光の演出を行う際には、その周辺ビルや来街者への効果や影響を考慮し、点灯・点滅時間や光の演出のあり方等に十分配慮する。

4) その他

- ・日常の管理運営やイベント等、必要に応じて大丸有協議会内にライティングに係わる連絡組織等の立ち上げを行う。

大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくりガイドライン

デザインマニュアル 2009

2009 年 9 月発行

発 行 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会
<http://www.aurora.dti.ne.jp/~ppp/>

